



仙北市

SEMBOKU CITY

ハザードマップ

安全で安心なまちづくり



〈保存版〉

市民のみなさまへ

近年、異常気象による自然災害が全国各地で発生し、その被害は甚大なものとなっています。私たちには、災害がいつ発生しても対応できるよう、日頃から防災意識を高め、備えておく必要があります。

災害時に被害拡大を防ぐためには、防災に関する知識も必要ですが、日常生活において意識しておくことが大切です。自分の身は自分で守ること、家族全員が守ること、その結果が地域を守ることに繋がります。「自助」「共助」「公助」、この3つが連携して、災害時の危機的状況を乗り越えることができます。

災害に対する心構えは、事前の準備や家族間の連携、空振りを恐れず自主避難をすることが重要です。

今回のハザードマップは、浸水想定域、土砂災害警戒区域・特別警戒区域、指定避難所、指定緊急避難場所の位置図のほか、災害への備えや感染対策等をまとめた記事も掲載しています。

ご家庭で目に付く場所においていただき、災害発生時の対応についてご家族や地域住民の方々のお役に立てていただければ幸いです。

令和3年11月
仙 北 市

索 引

市民のみなさまへ・索引	1	指定避難所・避難場所一覧1・2	9・10
自らの命、家族の命を守るために!	2	非常時持出品の準備&チェック	11
風水害対策について	3	仙北市全体図	12
土砂ハザード情報について	4	仙北市ハザードマップ1~20	13~52
洪水ハザード情報について	5	わが家の防災対策&チェック	53
秋田駒ヶ岳火山防災マップ	6	わが家の「防災・緊急情報」メモ	54
地震対策	7	防災無線聞き逃しサービス・携帯電話メールサービス	裏表紙
災害時の感染症対策	8	防災関係機関連絡先・災害用伝言ダイヤル・奥付	

自らの命、家族の命を守るために！

適時適切な避難を行うために、家族や地域で確認しましょう。

ステップ

①

自宅や学校・職場には、どのような危険があるのか確認しましょう。

- ハザードマップを見て、災害が起こりやすい場所はないか等、自宅や学校・職場等のよく立ち入る場所には、どのような危険があるのか確認しましょう。
- 避難場所（9・10ページ）を確認し、そこまでの経路や移動手段について計画しておきましょう。



ステップ

②

行政機関から提供される警戒レベルについて確認しましょう。

- 発令される避難情報等、国や都道府県から提供される防災気象情報には、以下のものがあります。^{※1}

警戒レベル	状況	住民に求める行動	避難情報	防災気象情報
5	災害発生 または切迫	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保 ^{※2} 市が発令	大雨特別警報 氾濫発生情報
<警戒レベル4までに必ず避難！>				
4	災害のおそれ 高い	危険な場所から 全員避難	避難指示 市が発令	土砂災害 警戒情報 氾濫危険情報
3	災害のおそれ あり	危険な場所から 高齢者等は避難 ^{※3}	高齢者等避難 市が発令	大雨警報 洪水警報 氾濫警戒情報
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水・高潮注意報 気象庁が発表	
1	今後気象状況 悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報 気象庁が発表	

※1 必ずしもこの順番で発令されるとは限らないので、ご注意ください。
 ※2 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令されるものではありません。
 ※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の方も、必要に応じて普段の行動を見合わせたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

風水害対策について

大雨や強風はわたしたちに何度も大きな災害をもたらしています。
 undanから気象情報に十分注意し、避難の際もみんなで協力しましょう。

大雨情報をキャッチ！ こんなときのわが家の安全対策

まずは、
 正確な情報が大事
 その次に迅速な対応



特別警報・警報・注意報の発表基準

現象の種類	発表基準		
	特別警報	警報	注意報
大雨	数十年に一度の大雨が予想され、大災害が起こるおそれ著しく高まっている場合	大雨によって重大な浸水害や土砂災害が起こるおそれがあると予想される場合 記録的短時間大雨情報 1時間に雨量100mm ※大雨警報発表時、秋田県においては上記基準に達した場合に発表	大雨によって浸水害や土砂災害が起こるおそれがあると予想される場合
洪水	※全国約400の河川において指定河川洪水予報を発表しているため、特別警報の設定はありません。	大雨や融雪によって、増水や氾濫により重大な洪水害が発生するおそれがあると予想される場合 ※対象となる重大な洪水害として、河川の増水・氾濫及び堤防の損傷・決壊、並びにこれらによる重大な浸水害があげられる。	大雨や融雪によって、増水により洪水害が発生するおそれがあると予想される場合 ※対象となる洪水害として、河川の増水及び堤防の損傷、並びにこれらによる浸水害があげられる。

雨の強さと降り方

(1時間雨量:mm)

やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
10以上～20未満	20以上～30未満	30以上～50未満	50以上～80未満	80以上～
雨の音で話し声が良く聞き取れない。	ワイパーを速くしても見づら。側溝や下水、小さな川があふれる。	山崩れ、がけ崩れが起きやすくなり危険地帯では避難の準備が必要。	マンホールから水が噴出する。土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。	雨による大規模な災害の発生する恐れが強く、厳重な警戒が必要。

風の強さと吹き方

(平均風速:m/秒)

やや強い風	強い風	非常に強い風	猛烈な風
10以上～15未満	15以上～20未満	20以上～35未満	35～
風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。	風に向かって歩けない。転倒する人もいる。	何かにつかまっていないと立ってられない。飛来物で負傷する恐れがある。	立ってられない。屋外での行動は危険。樹木が根こそぎ倒れはじめる。

台風

日本には毎年多数の台風が接近あるいは上陸し、たびたび大きな被害をもたらします。
 台風の接近が予想される際は、台風情報に十分注意し、被害のないように備えることが必要です。

大きさ	風速15m/s以上の半径	強さ	最大風速
大型(大きい)	500km以上800km未満	強い	33m/s以上44m/s未満
超大型(非常に大きい)	800km以上	非常に強い	44m/s以上54m/s未満
		猛烈な	54m/s以上

局地的大雨と集中豪雨

気象庁の定義によると、「局地的大雨」は単独の積乱雲が急激に発達して降らせる一過性の大雨のことで「ゲリラ豪雨」とも呼ばれることもあります。局地的に数十ミリになります。「集中豪雨」は積乱雲が同じ場所で次々と発達を繰り返し、雨が数時間にわたって降り続く現象です。狭い範囲に数百ミリの雨を降らせます。

その中でも、積乱雲が連続して発生し線状に並びその規模が幅20～50km、長さが50～300kmになるものが「線状降水帯」と呼ばれています。停滞性の線状降水帯は、同じ場所で激しい雨が長時間降り続き、まさにその場所にいる人にとっては経験したことのない大雨となり、甚大な被害をもたらすおそれがあります。

- ラジオやテレビなどの気象情報に注意する。
- 早く帰宅し、家族と連絡を取り、非常時に備える。
- 市や防災関係機関の広報をよく聞いておく。
- 飲料水や食料を数日分確保しておく。
- 停電に備え懐中電灯や携帯ラジオを用意する。
- 浸水に備えて家財道具は高い場所へ移動する。
- 非常時持出品を準備しておく。
- 危険な地域では、いつでも避難できるよう準備をする。

土砂ハザード情報について

土砂災害警戒情報が発表されていなくても、ふだんと異なる状況「土砂災害の前兆」に気付いた場合には、市役所（総合防災課 電話 43-1115）へ連絡するとともに、直ちに周りの人と安全な場所へ避難してください。日ごろから危険箇所・避難場所、避難経路を確認しておくことも重要です。

土砂災害の種類

がけ崩れ

地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることをいいます。がけ崩れは突然起きるため、人家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く、被害者の割合も高くなっています。



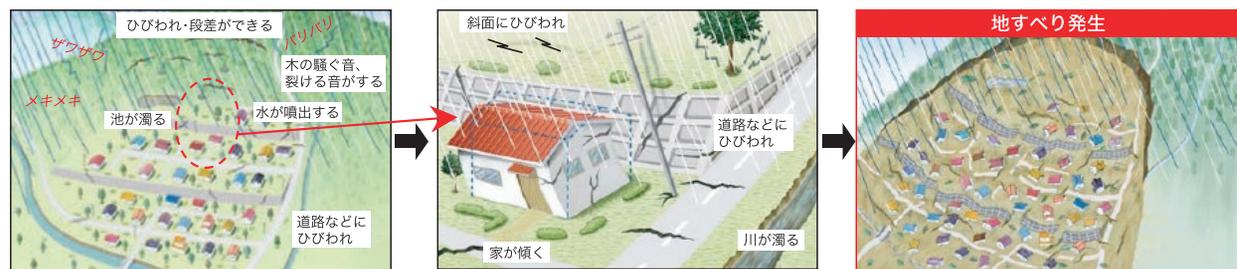
土石流

山腹・川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流されることをいいます。その流れの速さは規模によって異なりますが、時速20~40kmという速度で一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまいます。



地すべり

斜面の一部あるいは全部が、地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象のことをいいます。一般的に移動土塊量が大きいため、甚大な被害を及ぼします。また一旦動き出すと、これを完全に停止させることは非常に困難です。



※上記は一般的な前兆現象です。すべての場合において必ず起きるというものではありません。ふだんと違い、少しでも身に危険を感じたら避難するようにしましょう。

土砂災害警戒情報について

●土砂災害警戒情報とは

大雨による土砂災害発生が高まった時に、市が防災活動や住民等への避難指示等の災害応急対応を適時適切に行えるように支援すること、また住民の自主避難判断に役立てることを目的として、県と秋田地方気象台が共同し作成・発表する情報です。

●土砂災害警戒情報の発表

県等が発表する土砂災害警戒情報を受け、市は、気象状況、前兆現象、秋田県土砂災害危険箇所マップ(県の補足情報)や土砂災害警戒判定メッシュ情報(補足情報)の危険度指数等も併せて総合的に判断し、住民への避難情報等を提供します。また、住民への情報伝達は、防災行政無線や緊急速報メール(エリアメール)等を活用し、速やかに伝達します。

危険箇所内の重要性の高い箇所について

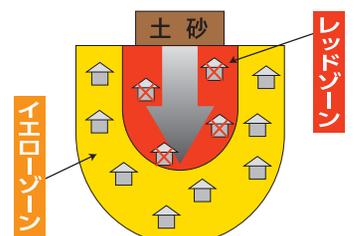
土砂災害防止法に基づき、秋田県が計画的に基礎調査を実施し、危険箇所内の重要性の高い箇所について、「土砂災害特別警戒区域」と「土砂災害警戒区域」の指定が行われています。

土砂災害 特別警戒区域(レッドゾーン)

建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域

土砂災害 警戒区域(イエローゾーン)

土砂災害のおそれがある区域



洪水ハザード情報について

水防法に基づき、洪水ハザード情報をマップに掲載しています。
以下の情報を参考に、洪水時における対応についてあらかじめ確認しておきましょう。

1 説明

- 「仙北市ハザードマップ」に表示している玉川、桧木内川、入見内川の浸水想定は、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域及び浸水した場合に想定される水深を表示したハザード情報です。
- この浸水想定区域などは、指定時点の河道の整備状況を勘案して、氾濫した場合の状況をシミュレーションにより予測したものです。
- このハザードマップをご使用の際は、支川の氾濫、想定を超える降雨、内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合がありますので十分注意しましょう。

●浸水ランクの目安

想定した大雨の規模	玉川	流域の2日間総雨量	365mm
	桧木内川	流域の24時間総雨量	378mm
	入見内川	流域の24時間総雨量	505mm

5.0m 以上の区域	2階の屋根まで浸水する程度
3.0～5.0m 未満の区域	2階が浸水する程度
0.5～3.0m 未満の区域	1階が浸水する程度
0.5m 未満の区域	大人の膝までつかる程度



2 洪水情報の種類

洪水の危険性が高まった際に発表される情報

洪水注意報(気象庁)

- 洪水によって災害が発生するおそれがあると予想したときに発表。

洪水警報(気象庁)

- 洪水によって重大な災害が発生するおそれがあると予想したときに発表。

水位周知を行う河川

- 玉川、桧木内川、入見内川については、避難判断水位、氾濫危険水位が設定されています。これらの水位に達した場合、知事は関係市町村やマスコミを通じてお知らせします。



3 避難時の注意点

①安全で動きやすい服装を

- ・ヘルメットやずきん等で頭を保護する。
- ・裸足で避難しない。脱げにくい運動靴で避難する。
- ※長靴は水が溜まると動きにくくなるのではない!

②足元に注意

- ・水の深さに注意する。
- ※歩行可能な水深は一般的に男性70cm、女性50cm。水の流が速い場合はさらに注意が必要!
- ・水があふれたときは、マンホールや側溝、石などが危険。杖や長い棒で進行方向を確認しながら歩くようにしましょう。

③隣近所で声を掛けあって避難

- ・単独行動はしない。
- ・はぐれないようロープで互いの体を結んで流されないようにしましょう。

④要配慮者の安全確保

- ・病人や高齢者などは背負って避難する。
- ・子供は大人が手をつないで避難させる。その際、浮き袋を付けるようにしましょう。

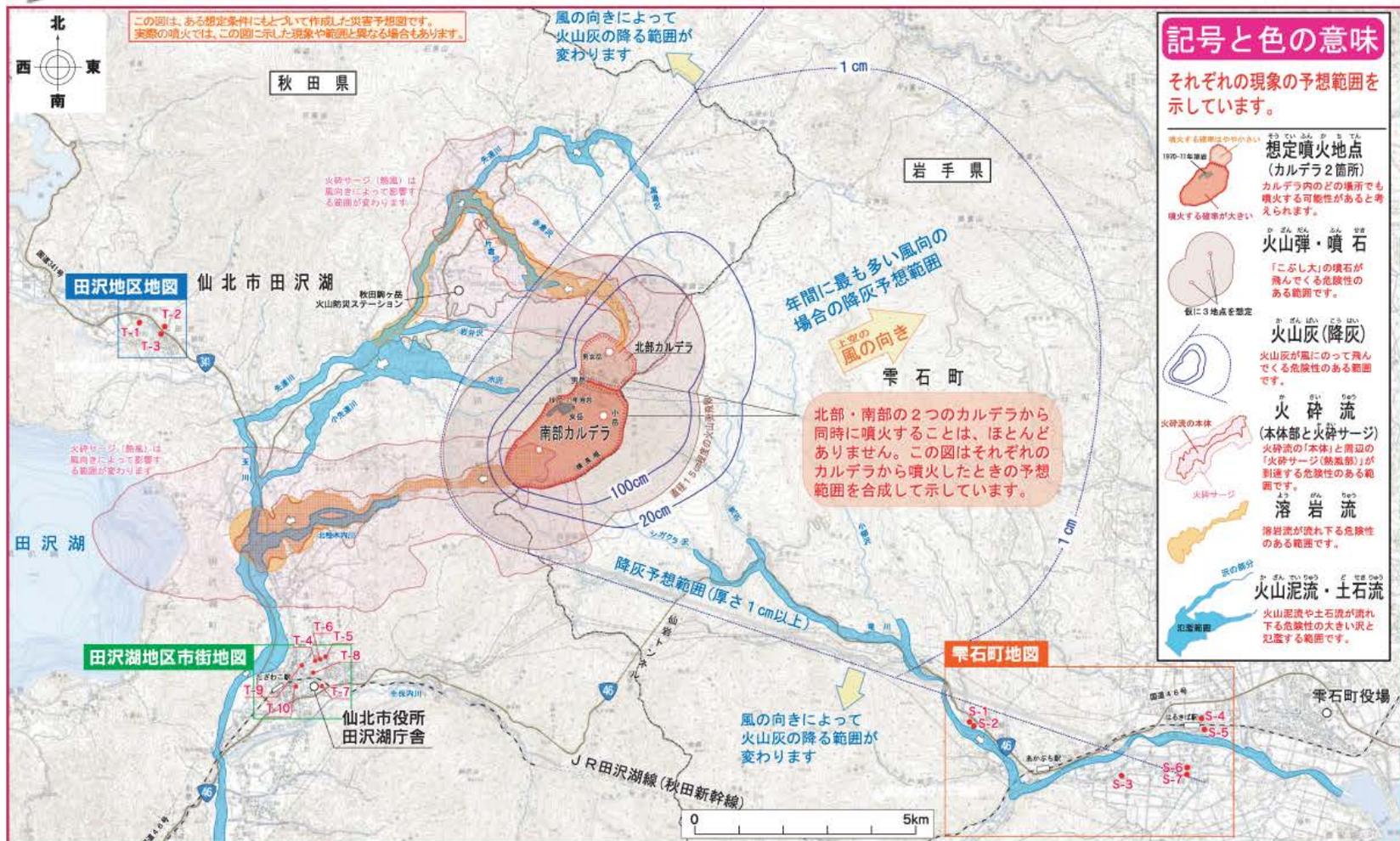




秋田駒ヶ岳火山防災マップ

秋田駒ヶ岳は
活火山です

万が一の噴火に備えて



噴火警戒レベル

- 各レベルには、「警戒が必要な範囲」を踏まえて、防災機関等の行動が5段階のキーワード(「避難」、「避難準備」、「入山規制」、「火口周辺規制」、「活火山であることに留意」)として示されています。
- 「警戒が必要な範囲」が居住地域まで及ぶレベル5(避難)及びレベル4(避難準備)については、特別警報として「噴火警報(居住地域)」で発表します。
- 「警戒が必要な範囲」が火口周辺に限られるレベル3(入山規制)及びレベル2(火口周辺規制)については、「噴火警報(火口周辺)」で発表します。

種別	名称	対象範囲	レベルとキーワード		説明		
			レベル	キーワード	火山活動の状況	住民等の行動	登山者・入山者への対応
特別警報	噴火警報(居住地域) 又は 噴火警報	居住地域 及び それより 火口側	レベル5	避難	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある。	危険な居住地域からの避難等が必要(状況に応じて対象地域や方法を判断)。	
			レベル4	避難準備	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される(可能性が高まってきている)。	警戒が必要な居住地域での避難の準備、要配慮者の避難等が必要(状況に応じて対象地域を判断)。	
警報	噴火警報(火口周辺) 又は 火口周辺警報	火口から 居住地域 近くまで	レベル3	入山規制	居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	通常の生活(今後の火山活動の推移に注意。入山規制)。状況に応じて要配慮者の避難準備等。	登山禁止・入山規制等、危険な地域への立入規制等(状況に応じて規制範囲を判断)。
			レベル2	火口周辺規制	火口周辺に影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	通常の生活。	火口周辺への立入規制等(状況に応じて火口周辺の規制範囲を判断)。
予報	噴火予報	火口内等	レベル1	活火山であることに留意	火山活動は静穏。火山活動の状態によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)。	通常の生活。	特になし(状況に応じて火口内への立入規制等)。

地震対策 地震発生!そんなときどうする

地震発生時の時間経過別行動マニュアル

地震発生

1~2分

最初の大きな揺れは約1分間

- まず、身を守る安全確保 (手近な座布団などで頭を保護)
- すぐに火を消せるときは火を消す
- 大きな揺れの場合は、身の安全を確保し、すばやく屋外の安全な場所に一時避難する



揺れがおさまったら

- 火元を確認 火が出たら、落ち着いて初期消火
- 家族の安全を確認 倒れた家具の下敷きになっていないかを確認
- 靴をはく 家の中はガラスの破片が散乱。靴や厚手のスリッパをはく
- 非常時持出品を準備する



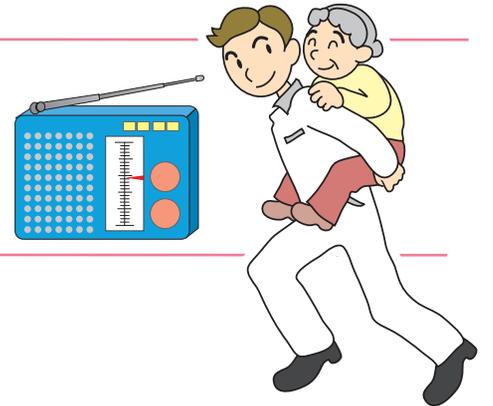
みんなの無事を確認 火災の発生を防ぐ

- | | | |
|-------------|------------------------------------|------------------------|
| ●隣近所に声をかけよう | ●要配慮者の安全確保 | ●隣近所で助け合う |
| | ●行方不明者はいないか | ●ケガ人はいないか |
| ●出火防止 初期消火 | ●漏電・ガス漏れに注意 電気のブレーカーを下ろす・ガスの元栓を閉める | |
| | ●消火器を使う | ●バケツリレー 風呂の水はため置きをしておく |

3分

ラジオなどで正しい情報を

- 大声で知らせる
- 災害・被害情報の収集
- 余震に注意する
- 避難時に車は極力使用しない
- 電話は緊急連絡を優先する



5分

協力して消火活動、救出・救護活動を

- 水、食料は蓄えているものでまかなう 3日間の飲料水と食料の備蓄をしておく
- 救出・救護活動
- 無理な行動はやめよう
- 助け合いの心が大切
- 壊れた家に入らない

10分
数時間
3日

屋内にいた場合

家の中

- 揺れを感じたら、身の安全を確保し、すばやく屋外の安全な場所へ避難する。
- 火の確認はすみやかに(コンセントやガスの元栓の処置も忘れずに)。
- 乳幼児や病人、高齢者など要配慮者の安全を確保する。
- 裸足で歩き回らない(ガラスの破片などでケガをする)。

デパート・スーパー

- カバンなどで頭を保護し、ショーウィンドウやショーケースなどから離れる。柱や壁ぎわに身を寄せ、係員の指示を聞き、落ち着いた行動をとる。



集合住宅

- ドアや窓を開けて避難口を確保する。
- 避難にエレベーターは絶対に使わない。炎と煙に巻き込まれないように階段を使って避難する。

劇場・ホール

- カバンなどで頭を保護し、座席の間に身を隠し、係員の指示に従う。あわてずに冷静な行動をとる。



屋外にいた場合

路上

- その場に立ち止まらず、窓ガラス、看板などの落下物から頭をカバンなどで保護して、空き地や公園などに避難する。
- 近くに空き地などが無いときは、周囲の状況を冷静に判断して、建物から離れた安全性の高い場所へ移動する。
- ブロック塀や自動販売機などには近づかない。
- 倒れそうな電柱や垂れ下がった電線に近づかない。



車を運転中

- ハンドルをしっかりと握り、徐々にスピードを落とし、緊急車両等の通行スペースを確保し、道路の左側に止め、エンジンを切る。
- 揺れがおさまるまで冷静に周囲の状況を確認して、カーラジオで情報を収集する。
- 避難が必要なときは、キーはつけたまま、ドアロックもしない。車検証などの貴重品を忘れずに持ち出し、徒歩で避難する。

電車などの車内

- つり革や手すりに両手でしっかりつかまる。
- 途中で止まっても、非常コックを開けて勝手に車外へ出たり、窓から飛び降りたりしない。
- 乗務員の指示に従って落ち着いた行動をとる。



災害時の感染症対策

新型コロナウイルス等の感染症が収束しない中でも、災害時には、**危険な場所にいる人は避難することが原則**です。

市民一人ひとりが「自らの命は自らが守る」意識を持ち、災害時には次の「避難に関するポイント」を参考に、適切な避難行動をとるよう心掛けましょう。

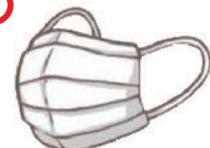
避難に関するポイント

- 避難とは「難」を「避」けること。
安全な場所にいる人まで避難場所に行く必要はありません。
- 避難先は、市が指定する避難場所のみではありません。
安全な親戚・知人宅に避難することも考えてみましょう。
- 避難所に避難する場合は、マスク・消毒液・体温計をできるだけ、**自ら携行**してください。
- 豪雨時の屋外の移動は車も含めて危険です。やむをえず車中泊をする場合は、浸水しないよう周囲の状況等を十分確認してください。



新型コロナウイルス等の感染症対策で非常時持出品に加えないもの

- ① マスク
- ② アルコール消毒液
- ③ ハンドソープ・固形石けん（※家族又は自分用を持参し、避難所では共用しないこと）
- ④ 使い捨てのビニール手袋（ドアノブ等、多くの人に触れるものからの接触感染を防ぐため）
- ⑤ 使い捨てのビニールエプロン又はゴミ袋（避難所運営に協力する際に使用）
- ⑥ 体温計（市で用意できない可能性もあるため、使い慣れたものを持参すること）
- ⑦ ティッシュ、ウェットティッシュ、ペーパータオル、ポリ袋（可能な限り多めに準備）
- ⑧ 携帯トイレ（トイレは我慢しないこと。避難所のトイレが使えない場合に備える）



指定避難所・避難場所一覧1

【田沢湖地区】

令和3年4月1日現在

NO	施設・場所名	住所	掲載 マップ No	対象とする異常な現象の種類					
				洪水	崖崩れ 土石流 地滑り	地震	大規模 な火事	内水 氾濫	火山 現象
1	生保内小学校	仙北市田沢湖生保内字武蔵野 111	14	○	○	○	○		○
2	生保内中学校	仙北市田沢湖生保内字武蔵野 105-1	14	○	○	○	○		○
3	神代小学校	仙北市田沢湖神代字珍重屋敷 48	16	○	○	○	○		○
4	神代中学校	仙北市田沢湖神代字野中清水 244	16	○	○	○	○		○
5	田沢市民体育館	仙北市田沢湖田沢字高屋 59	9	○		○	○		○
6	生保内市民体育館	仙北市田沢湖生保内字武蔵野 105-1	14	○		○	○		○
7	生保内武道館	仙北市田沢湖生保内字武蔵野 105-1	14	○	○	○	○		○
8	神代市民体育館	仙北市田沢湖神代字野中清水 259	16	○	○	○	○		○
9	神代武道館	仙北市田沢湖神代字野中清水 283-2	16	○	○	○	○		○
10	仙北市民会館	仙北市田沢湖生保内字武蔵野 105-1	14	○	○	○	○		○
11	田沢湖総合開発センター	仙北市田沢湖生保内字宮ノ後 27	14	○	○	○	○		○
12	田沢湖活性化センター	仙北市田沢湖田沢字高屋 166-5	9	○		○	○		○
13	田沢交流センター	仙北市田沢湖田沢字大山 7	9	○		○	○		○
14	就業改善センター	仙北市田沢湖神代字古館野 404-1	16	○	○	○	○		○
15	田沢湖健康増進センター	仙北市田沢湖生保内字浮世坂 20	14	○	○	○	○		○
16	田沢湖活性化センターグラウンド	仙北市田沢湖田沢字高屋 166-5	9	○		○	○		○
17	県営発電所グラウンド	仙北市田沢湖田沢字鐵畑 42-1	4		○	○	○		○
18	春山第1駐車場	仙北市田沢湖田沢字春山 145-1	9	○	○	○	○		○
19	春山第2駐車場	仙北市田沢湖田沢字春山 148-1	9	○	○	○	○		○
20	生保内小学校グラウンド	仙北市田沢湖生保内字武蔵野 111	14	○	○	○	○		○
21	生保内中学校グラウンド	仙北市田沢湖生保内字武蔵野 105-1	14	○		○	○		○
22	中生保内農村運動広場	仙北市田沢湖生保内字造道 171	9・13	○	○	○	○		○
23	生保内公園野球場	仙北市田沢湖生保内字武蔵野地内	14	○	○	○	○		○
24	四十程グラウンド	仙北市田沢湖生保内字船場地内	14		○	○	○		○
25	神代小学校グラウンド	仙北市田沢湖神代字珍重屋敷 48	16	○		○	○		○
26	神代中学校グラウンド	仙北市田沢湖神代字野中清水 244	16	○	○	○	○		○
27	小松農村広場	仙北市田沢湖小松字羽根ヶ台 174-1	15・18	○	○	○	○		○
28	大沼農村広場	仙北市田沢湖梅沢字沼頭 4-10	16	○	○	○	○		○

【角館地区】

令和3年4月1日現在

NO	施設・場所名	住所	掲載 マップ No	対象とする異常な現象の種類					
				洪水	崖崩れ 土石流 地滑り	地震	大規模 な火事	内水 氾濫	火山 現象
29	仙北市役所 角館庁舎	仙北市角館町中菅沢 81-8	19	○	○	○	○		○
30	角館小学校	仙北市角館町西野川原 56-1	19		○	○	○		○
31	角館中学校	仙北市角館町小勝田小倉前 73	19		○	○	○		○
32	中川コミュニティセンター	仙北市角館町川原中道 41	15	○	○	○	○	○	○
33	白岩小学校	仙北市角館町白岩新西野 162	20			○	○		○
34	角館公民館	仙北市角館町表町上丁 6	19		○	○	○		○
35	角館東地区公民館	仙北市角館町外ノ山 11	19	○	○	○	○		○
36	勤労青少年ホーム	仙北市角館町外ノ山 19	19	○	○	○	○		○
37	角館交流センター	仙北市角館町中菅沢 77-30	19	○	○	○	○		○
38	下延コミュニティセンター	仙北市角館町下延段添 198	18	○	○	○	○		○
39	八割コミュニティセンター	仙北市角館町八割西ヶ沢 195	18	○	○	○	○		○
40	西長野交流センター	仙北市角館町西長野中泊 402	18	○	○	○	○		○
41	雲沢集落センター	仙北市角館町雲然田中 473-13	19		○	○	○		○
42	雲沢トレーニングセンター	仙北市角館町雲然田中 437-13	19		○	○	○		○
43	白岩集落センター	仙北市角館町白岩上西野 123	20	○	○	○	○		○
44	広久内住民センター	仙北市角館町広久内町後 108	20		○	○	○	○	○
45	健康管理センター	仙北市角館町中菅沢 77-28	19	○	○	○	○		○
46	角館こども園	仙北市角館町中菅沢 91-1	19	○	○	○	○		○
47	中川保育園	仙北市角館町川原羽黒堂 324-1	15	○	○	○	○		○
48	角館西保育園	仙北市角館町雲然田中 437-2	19			○	○		○
49	白岩小百合保育園	仙北市角館町白岩上西野 93-1	20	○	○	○	○		○
50	花葉館	仙北市角館町西長野古米沢 30-19	17	○	○	○	○		○
51	角館榊細工伝承館	仙北市角館町表町下丁 10-1	19	○	○	○	○		○
52	秋田県立角館高等学校	仙北市角館町細越町 37	19	○	○	○	○		○
53	秋田県立大曲支援学校せんぼく校	仙北市角館町小館 77-2	19		○	○	○		○
54	秋田県立角館高等学校グラウンド	仙北市角館町細越町 37	19	○	○	○	○		○

指定避難所・避難場所一覧2

NO	施設・場所名	住所	掲載マップNo	対象とする異常な現象の種類					
				洪水	崖崩れ 土石流 地滑り	地震	大規模な火事	内水 氾濫	火山 現象
55	秋田県立大曲支援学校せんぼく校グラウンド	仙北市角館町小館 77-2	19		○	○	○		○
56	角館小学校グラウンド	仙北市角館町西野川原 56-1	19		○	○	○		○
57	角館中学校グラウンド	仙北市角館町小勝田中川原 135	19		○	○	○		○
58	角館東地区公民館グラウンド	仙北市角館町外ノ山 11	19	○	○	○	○		○
59	旧角館警察署跡地	仙北市角館町小館 33-1	19		○	○	○		○
60	落合運動公園	仙北市角館町西野川原 55-27	19		○	○	○		○
61	古城山公園	仙北市角館町古城山内	19	○	○	○	○		○
62	旧角館高等学校グラウンド	仙北市角館町表町上丁 24 外	19			○	○		○
63	仙北市役所角館庁舎駐車場	仙北市角館町中菅沢 77-30	19	○	○	○	○		○
64	角館公民館駐車場	仙北市角館町表町上丁 6	19		○	○	○		○
65	桜並木駐車場	仙北市角館町北野 107 外	19		○	○	○		○
66	旧図書館前広場（火除け）	仙北市角館町東勝楽丁 17	19		○	○	○		○
67	外ノ山テニスコート	仙北市角館町外ノ山 19	19	○	○	○	○		○
68	下延コミュニティセンター前広場	仙北市角館町下延段添 198	18		○	○	○		○
69	西長野交流センターグラウンド	仙北市角館町西長野中泊 402	18	○	○	○	○		○
70	雲然野球場	仙北市角館町雲然田中 264-1	19		○	○	○		○
71	八割運動広場	仙北市角館町雲然田中 41-1	18	○	○	○	○		○
72	雲沢トレーニングセンター前広場	仙北市角館町雲然田中 437-13	19		○	○	○		○
73	花葉館前広場	仙北市角館町西長野古米沢 30-19	17	○	○	○	○		○
74	中川コミュニティセンターグラウンド	仙北市角館町川原中道 41	15	○	○	○	○		○
75	中川コミュニティ広場	仙北市角館町川原中道 46	15	○	○	○	○		○
76	白岩小学校グラウンド	仙北市角館町白岩上西野 162	20	○	○	○	○		○
77	白岩集落センター前広場	仙北市角館町白岩上西野 123	20	○	○	○	○		○
78	白岩コミュニティ運動広場	仙北市角館町白岩上西野 153	20	○	○	○	○		○

【西木地区】

令和3年4月1日現在

NO	施設・場所名	住所	掲載マップNo	対象とする異常な現象の種類					
				洪水	崖崩れ 土石流 地滑り	地震	大規模な火事	内水 氾濫	火山 現象
79	西明寺小学校	仙北市西木町門屋字六本杉 6	15		○	○	○		○
80	西明寺中学校	仙北市西木町上荒井字橋元 280-1	15	○	○	○	○		○
81	桧木内小学校	仙北市西木町桧木内字高屋 110	8	○		○	○		○
82	桧木内中学校	仙北市西木町桧木内字高屋 2-3	8	○		○	○		○
83	紙風船館	仙北市西木町上桧木内字大地田 3-1	3		○	○	○		○
84	桧木内地区公民館	仙北市西木町桧木内字松葉 290-1	8	○		○	○		○
85	西木林業総合センター	仙北市西木町桧木内字松葉 232	8	○	○	○	○		○
86	西木コミュニティセンター	仙北市西木町門屋字屋敷田 84	15		○	○	○		○
87	西木総合健康増進センター	仙北市西木町桧木内字吉田 123	8	○	○	○	○		○
88	多世代交流施設西木山鳩館	仙北市西木町上桧木内字大森 37	4	○		○	○	○	○
89	西木温泉クリオン	仙北市西木町門屋字屋敷田 83-2	15		○	○	○		○
90	特別豪雪地帯克雪管理センター	仙北市西木町桧木内字松葉 290-2	8	○		○	○		○
91	活性化施設かたくり館	仙北市西木町小山田字八津 249-1	11			○	○		○
92	西木総合開発センター	仙北市西木町上荒井字古堀田 47	15	○	○	○	○		○
93	仙北市役所西木庁舎駐車場	仙北市西木町上荒井字古堀田 47	15	○	○	○	○		○
94	西明寺小学校グラウンド	仙北市西木町門屋字六本杉 6	15		○	○	○		○
95	西明寺中学校グラウンド	仙北市西木町上荒井字橋元 280-1	15	○	○	○	○		○
96	西明寺野球場	仙北市西木町小淵野字向山 52-2	16	○	○	○	○		○
97	活性化施設かたくり館駐車場	仙北市西木町小山田字八津 249-1	11			○	○		○
98	桧木内小学校グラウンド	仙北市西木町桧木内字高屋 110	8	○		○	○		○
99	桧木内中学校グラウンド	仙北市西木町桧木内字高屋 2-3	8	○		○	○		○
100	吉田野球場	仙北市西木町桧木内字吉田 6-6	8	○	○	○	○		○
101	紙風船館広場	仙北市西木町上桧木内字大地田 3-1	3		○	○	○		○
102	多世代交流施設西木山鳩館広場	仙北市西木町上桧木内字大森 37	4	○		○	○		○
103	旧上桧木内小学校グラウンド	仙北市西木町上桧木内字大地田 50	3・4		○	○	○		○

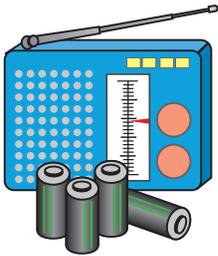
非常時持出品の準備&チェック

いざというときすぐに持ち出せるように、日ごろから準備・点検しておきましょう。

非常時持出品(例)

事前に準備出来ているか、チェック✓しましょう。

携帯ラジオ



- ラジオ
- 電池(多めに用意)

救急医療品



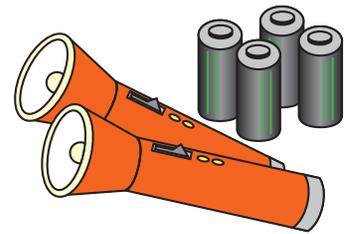
- 持病薬
- 絆創膏
- 傷薬
- 包帯
- 風邪薬
- 胃腸薬
- 鎮痛剤
- お薬手帳

貴重品



- 現金
- 預金通帳
- 印鑑
- 免許証
- 健康保険証
- 権利証書

懐中電灯



- 懐中電灯(出来れば一人にひとつ)
- 電池(多めに用意)

非常食品



火を通さなくて食べられるもの、食器など

- カンパン
- 缶詰
- 非常用食品
- ミネラルウォーター
- 缶切り
- 栓抜き
- 紙皿
- 紙コップ
- 水筒
- 割箸等

その他



- 衣類(下着・上着など)
- 女性用品
- 離乳食
- ウェットティッシュ
- ヘルメット
- ラップフィルム
- 防寒具(時季による)
- タオル
- 粉ミルク
- 紙おむつ
- 雨具
- ライター
- ハザードマップ(本書)
- 感染症用品一式

非常時用備蓄品(例)

災害復旧までの数日間(最低3日)を生活できるようにチェック✓しましょう。
※最近では、7日間の非常食の備蓄を推奨しています。

飲料水



- 飲料水としてペットボトルや缶入りのミネラルウォーター(1人1日3リットルを目安に)
- 貯水したポリタンクなど

非常食品



- お米(アルファ米も便利)
- 缶詰・レトルト食品
- 梅干し・調味料など
- ドライフーズ・チョコレート・アメ(菓子類など)

燃料



- 卓上コンロ
- ガスボンベ
- 固形燃料

その他

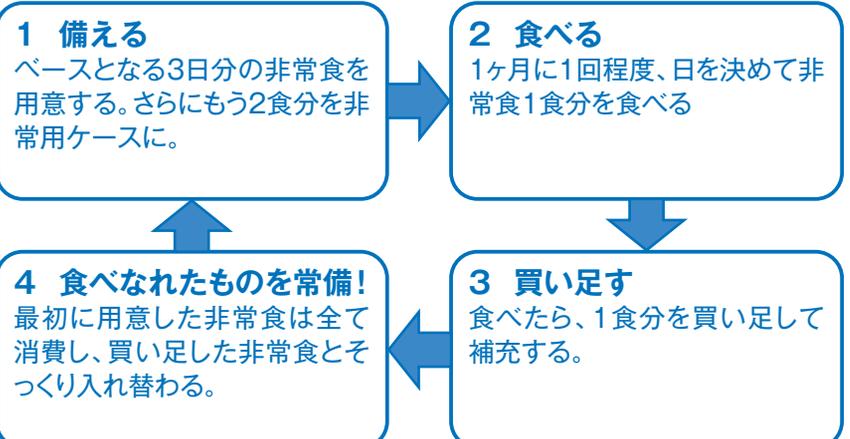


- 生活用水(風呂・洗濯機などに貯水)
- 毛布・寝袋・洗面用具・ドライシャンプーなど
- 調理器具(なべ・やかんなど)
- バケツ・各種アウトドア用品など

ローリングストック法とは

- ・「備蓄食料」と問われると、大部分の人が「賞味期限の長い食料を大量に買って置く」と思いがち。
- ・間違いではないが、こんな失敗は？
 - 賞味期限が知らないうちに過ぎてしまった。
 - 賞味期限が近いので、続けて備蓄品を食べた。

その名のとおり、食べながら(ローリング)、備蓄(ストック)する方法。



1左
1右
3左
2

土砂災害凡例

- 土砂災害
特別警戒区域
著しい危険が生じる
恐れのある区域
- 土砂災害
警戒区域
危険が生じる
恐れのある区域

河川浸水想定凡例

- 浸水深0.5m未満
- 浸水深0.5~3.0m未満
- 浸水深3.0~5.0m未満
- 浸水深5.0~10.0m未満

浸水深の表示と配色は「洪水浸水想定区域図マニュアル(国土交通省・国土技術政策総合研究所)」による

指定避難所

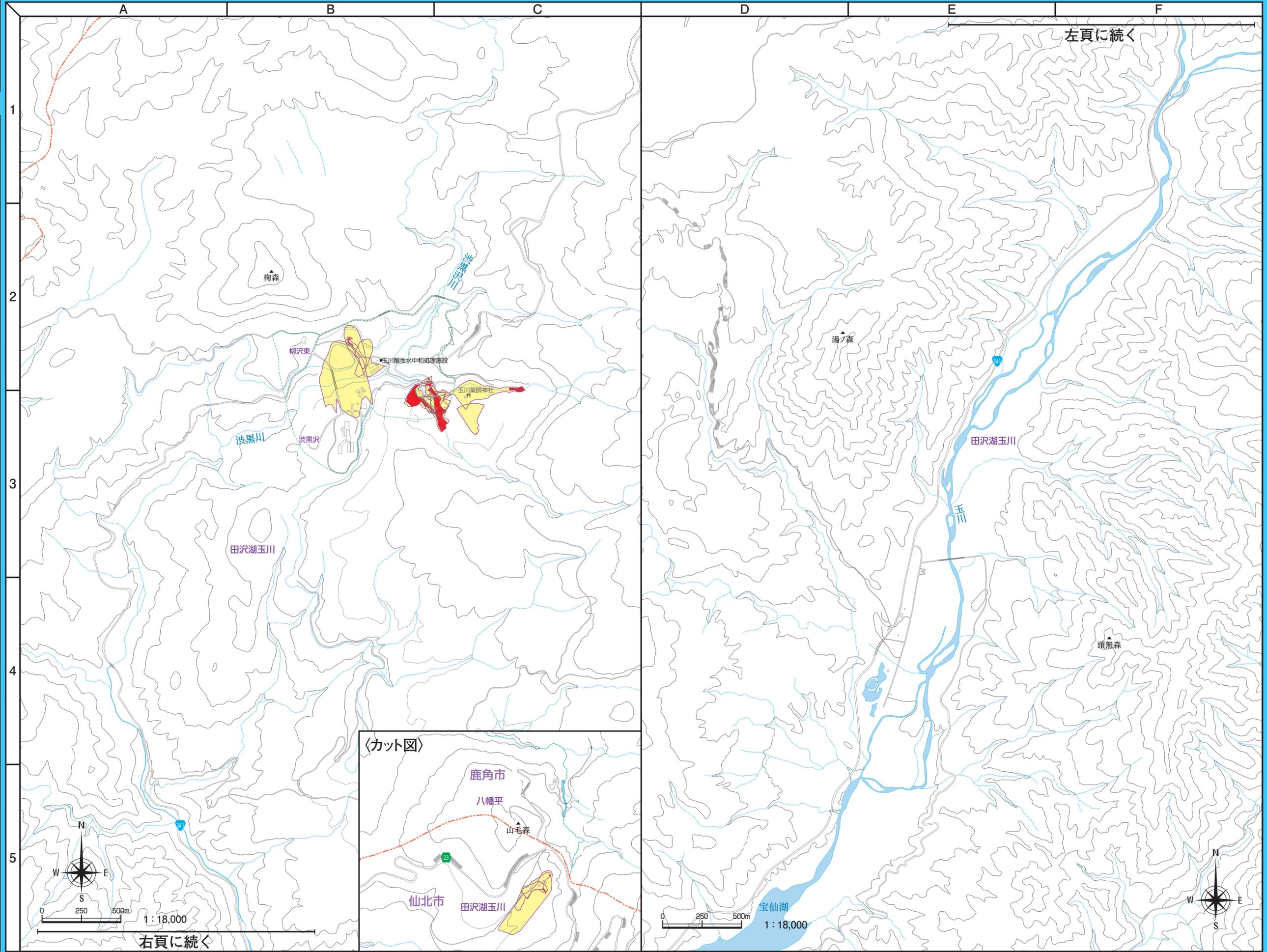
赤色の番号と施設名で表示

指定避難場所

青色の番号と施設名で表示

※指定避難場所専用の施設を青で表示しています

各指定避難所、指定避難場所についての詳細は、P9・10をご覧ください



	1	右	
3	2		
3	4	5	6
右			

土砂災害凡例

土砂災害 特別警戒区域
著しい危険が生じる恐れのある区域

土砂災害 警戒区域
危険が生じる恐れのある区域

河川浸水想定凡例

浸水深0.5m未満

浸水深0.5～3.0m未満

浸水深3.0～5.0m未満

浸水深5.0～10.0m未満

浸水深の表示と配色は「洪水浸水想定区域図マニュアル(国土交通省・国土技術政策総合研究所)」による

指定避難所

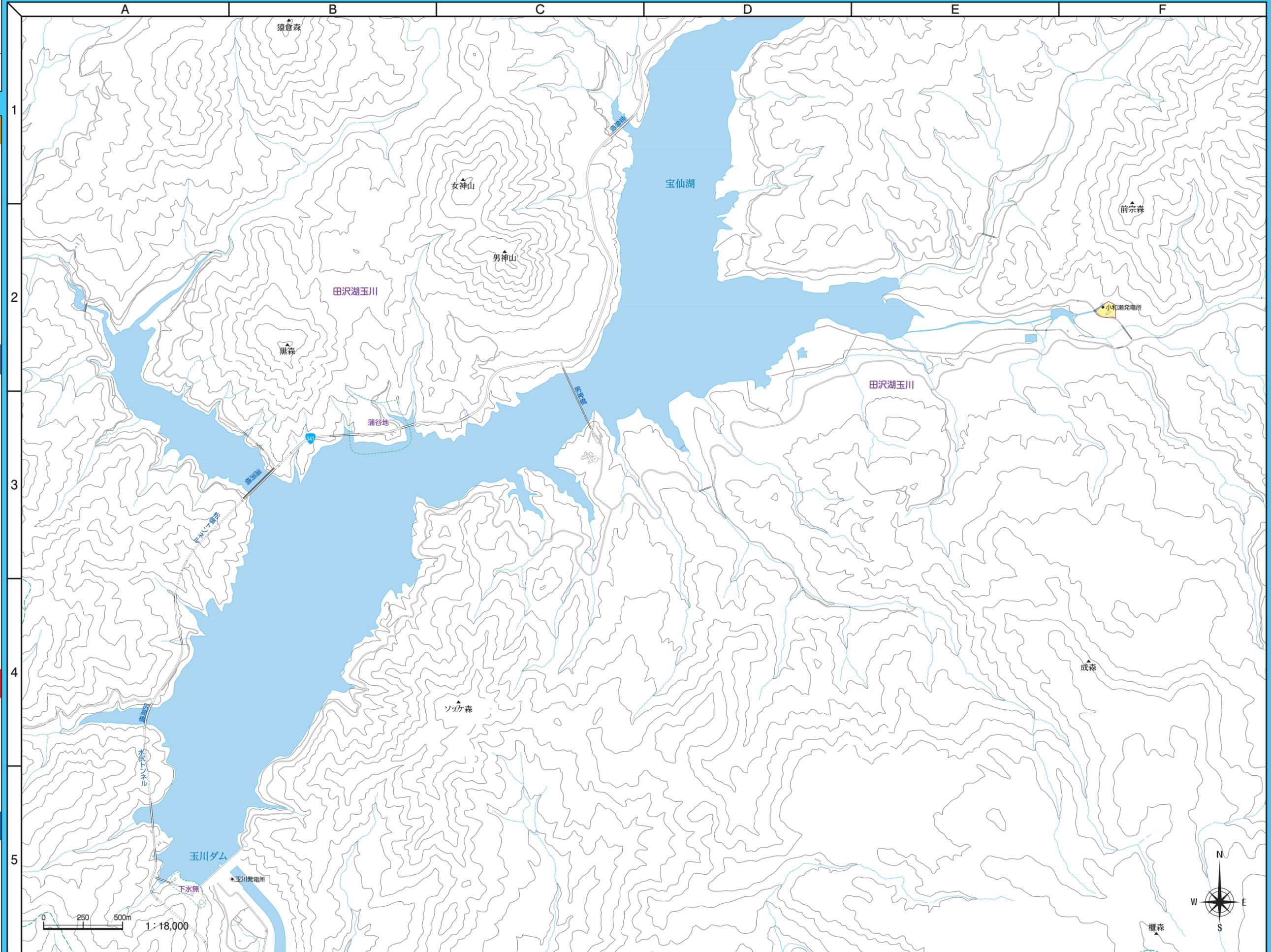
赤色の番号と施設名で表示

指定避難場所

青色の番号と施設名で表示

※指定避難場所専用の施設を青で表示しています

各指定避難所、指定避難場所についての詳細は、P9・10をご覧ください



3左 2
3右 4

土砂災害凡例

- 土砂災害
特別警戒区域
著しい危険が生じる
恐れのある区域
- 土砂災害
警戒区域
危険が生じる
恐れのある区域

河川浸水想定凡例

- 浸水深0.5m未満
- 浸水深0.5~3.0m未満
- 浸水深3.0~5.0m未満
- 浸水深5.0~10.0m未満

浸水深の表示と配色は「洪水浸水想定区域図マニュアル(国土交通省・国土技術政策総合研究所)」による

指定避難所

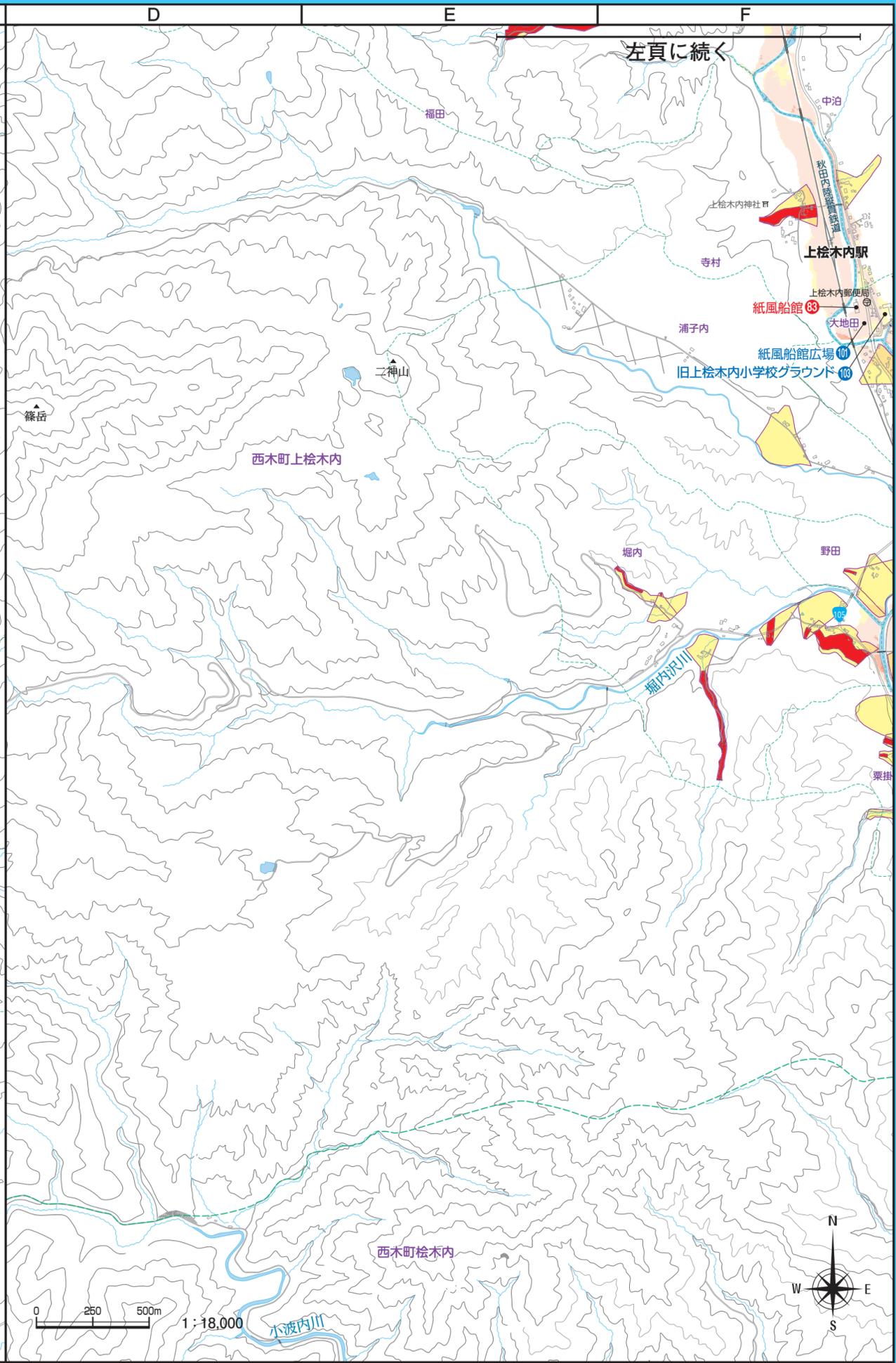
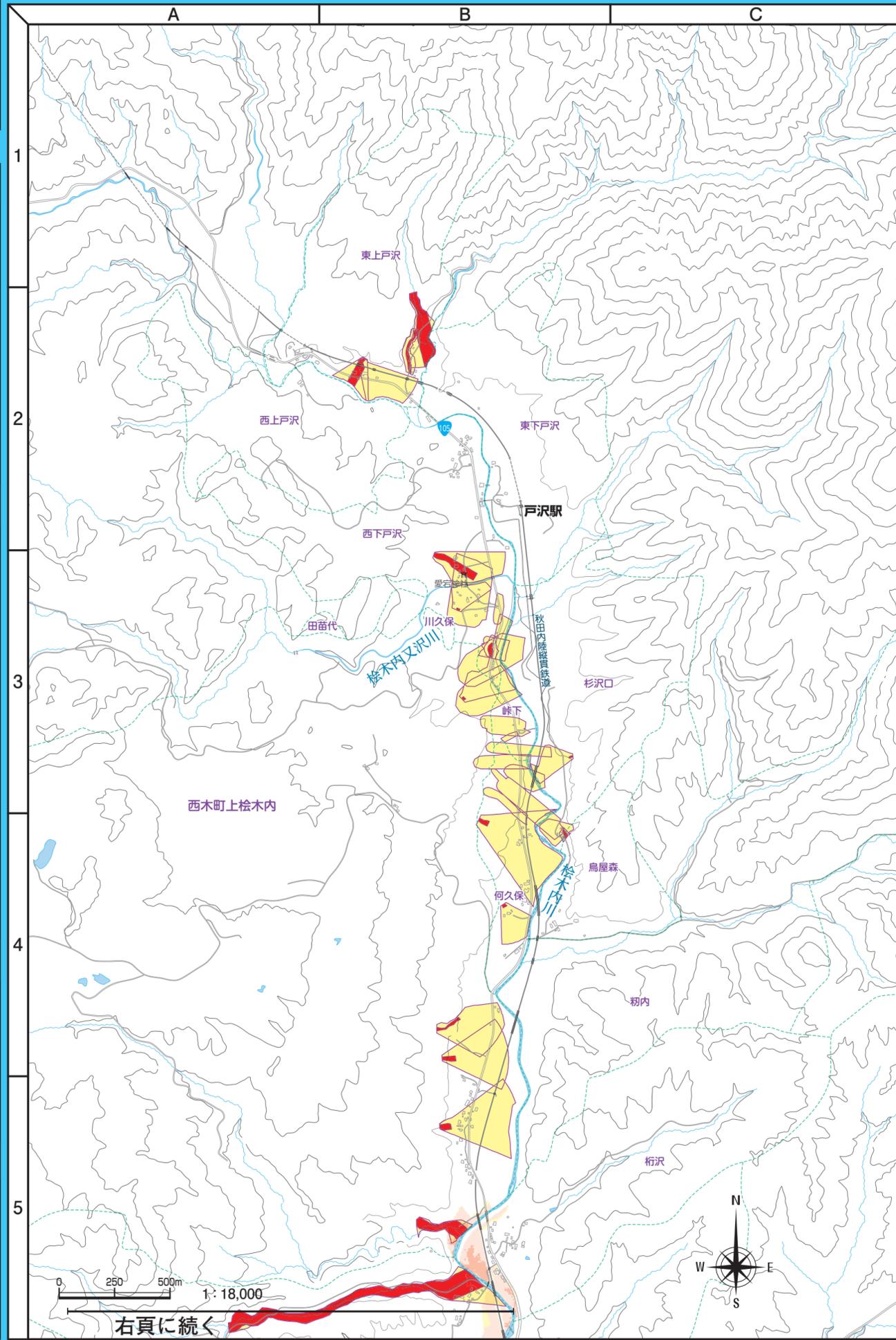
赤色の番号と施設名で表示

指定避難場所

青色の番号と施設名で表示

※指定避難場所専用の施設を青で表示しています

各指定避難所、指定避難場所についての詳細は、P9・10をご覧ください



3左	2	
3右	4	5
7	8	9

土砂災害凡例

**土砂災害
特別警戒区域**
著しい危険が生じる
恐れのある区域

**土砂災害
警戒区域**
危険が生じる
恐れのある区域

河川浸水想定凡例

浸水深0.5m未満

浸水深0.5~3.0m未満

浸水深3.0~5.0m未満

浸水深5.0~10.0m未満

浸水深の表示と配色は「洪水浸水想定区域図マニュアル(国土交通省・国土技術政策総合研究所)」による

指定避難所

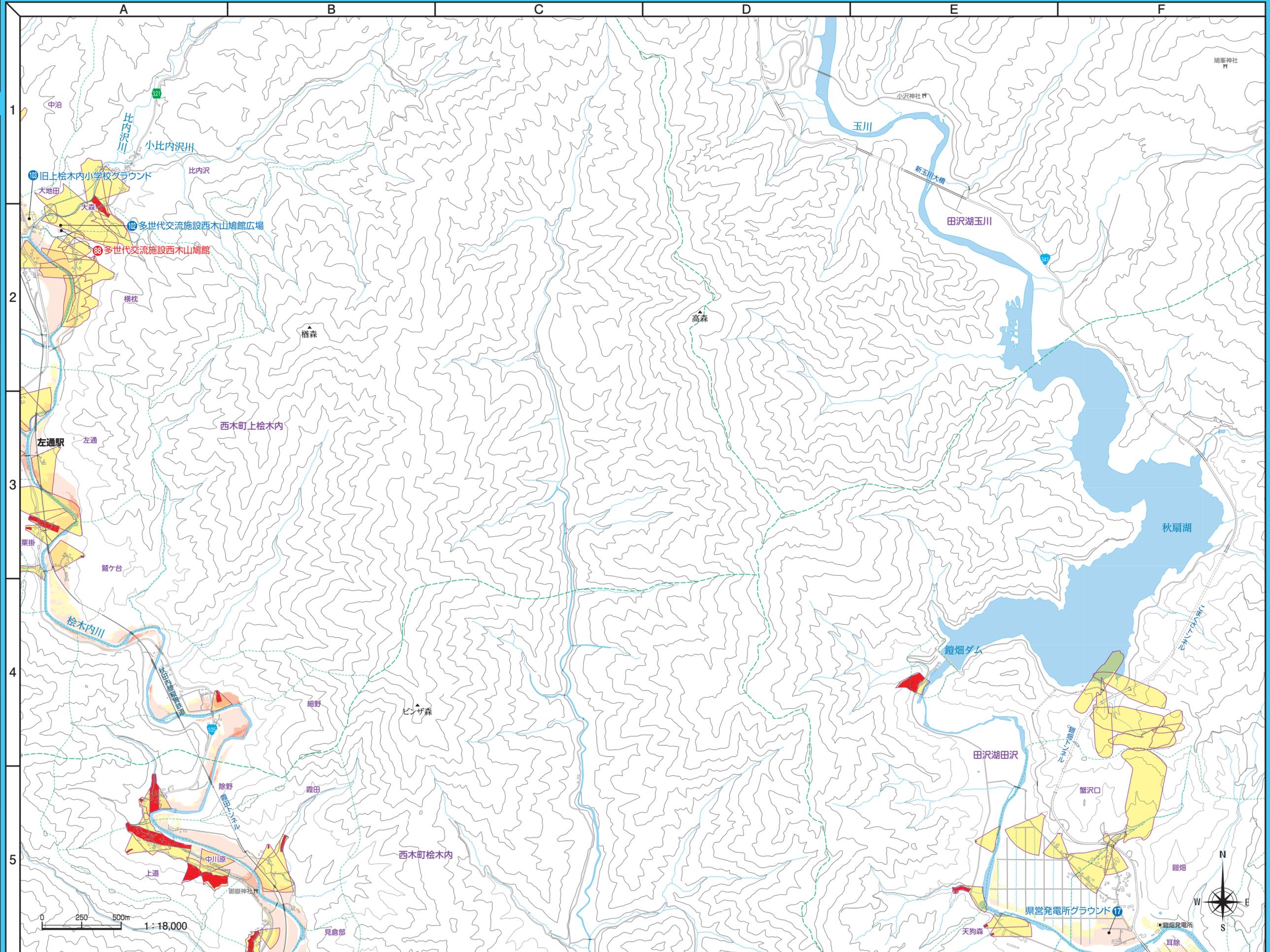
赤色の番号と施設名で表示

指定避難場所

青色の番号と施設名で表示

※指定避難場所専用の施設を青で表示しています

各指定避難所、指定避難場所についての詳細は、P9・10をご覧ください



2		
4	5	6
8	9	10

土砂災害凡例

- 土砂災害 特別警戒区域**
著しい危険が生じる恐れのある区域
- 土砂災害 警戒区域**
危険が生じる恐れのある区域

河川浸水想定凡例

- 浸水深0.5m未満
- 浸水深0.5～3.0m未満
- 浸水深3.0～5.0m未満
- 浸水深5.0～10.0m未満

浸水深の表示と配色は「洪水浸水想定区域図マニュアル(国土交通省・国土技術政策総合研究所)」による

指定避難所

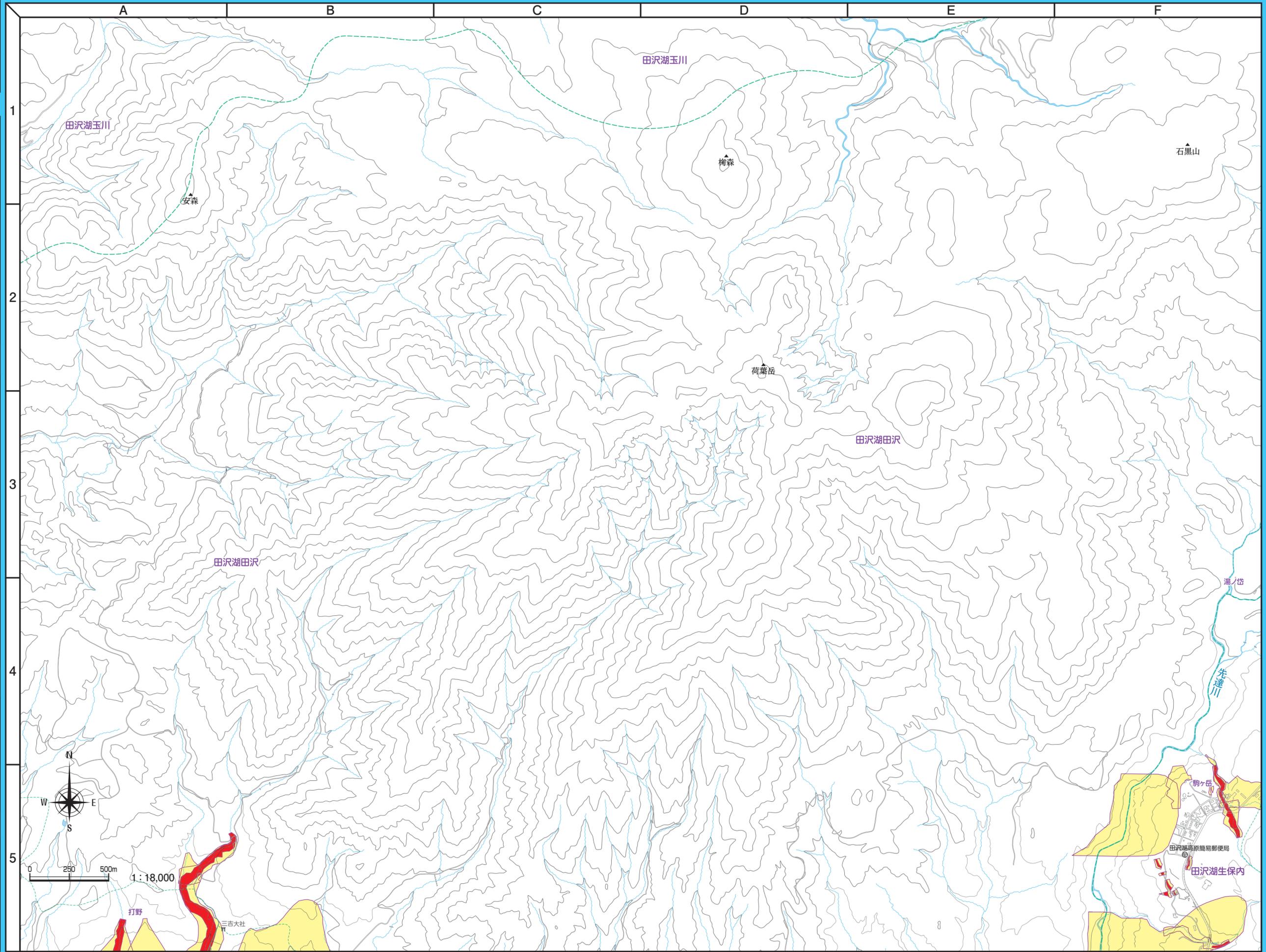
赤色の番号と施設名で表示

指定避難場所

青色の番号と施設名で表示

※指定避難場所専用の施設を青で表示しています

各指定避難所、指定避難場所についての詳細は、P9・10をご覧ください



2	
5	6
9	10

土砂災害凡例

- 土砂災害
特別警戒区域
著しい危険が生じる
恐れのある区域
- 土砂災害
警戒区域
危険が生じる
恐れのある区域

河川浸水想定凡例

- 浸水深0.5m未満
- 浸水深0.5~3.0m未満
- 浸水深3.0~5.0m未満
- 浸水深5.0~10.0m未満

浸水深の表示と配色は「洪水浸水想定区域図マニュアル(国土交通省・国土技術政策総合研究所)」による

指定避難所

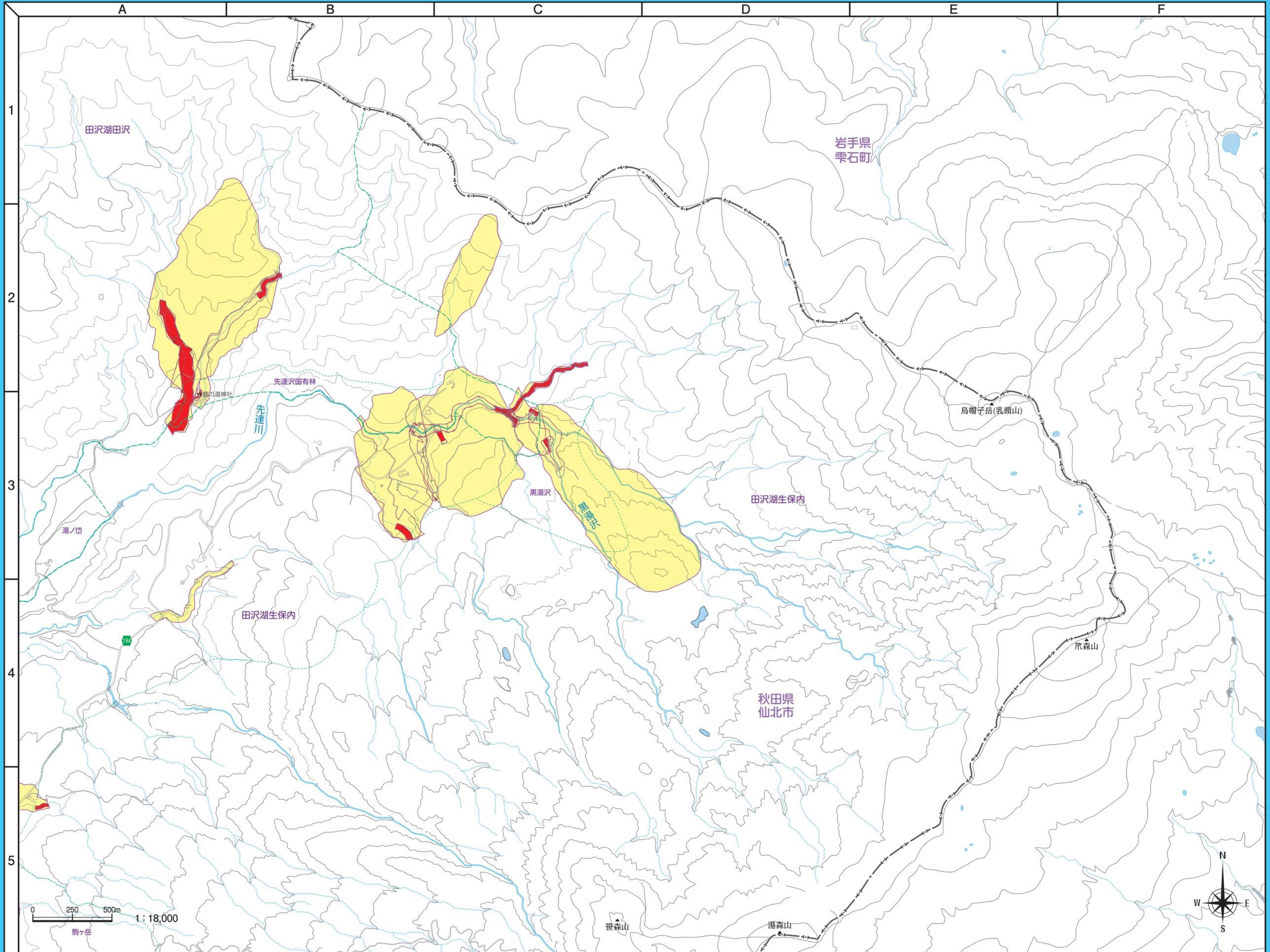
赤色の番号と施設名で表示

指定避難場所

青色の番号と施設名で表示

※指定避難場所専用の施設を青で表示しています

各指定避難所、指定避難場所についての詳細は、P9・10をご覧ください



3	4
7	8
11	12

土砂災害凡例

土砂災害特別警戒区域
著しい危険が生じる恐れのある区域

土砂災害警戒区域
危険が生じる恐れのある区域

河川浸水想定凡例

浸水深0.5m未満

浸水深0.5～3.0m未満

浸水深3.0～5.0m未満

浸水深5.0～10.0m未満

浸水深の表示と配色は「洪水浸水想定区域図マニュアル(国土交通省・国土技術政策総合研究所)」による

指定避難所

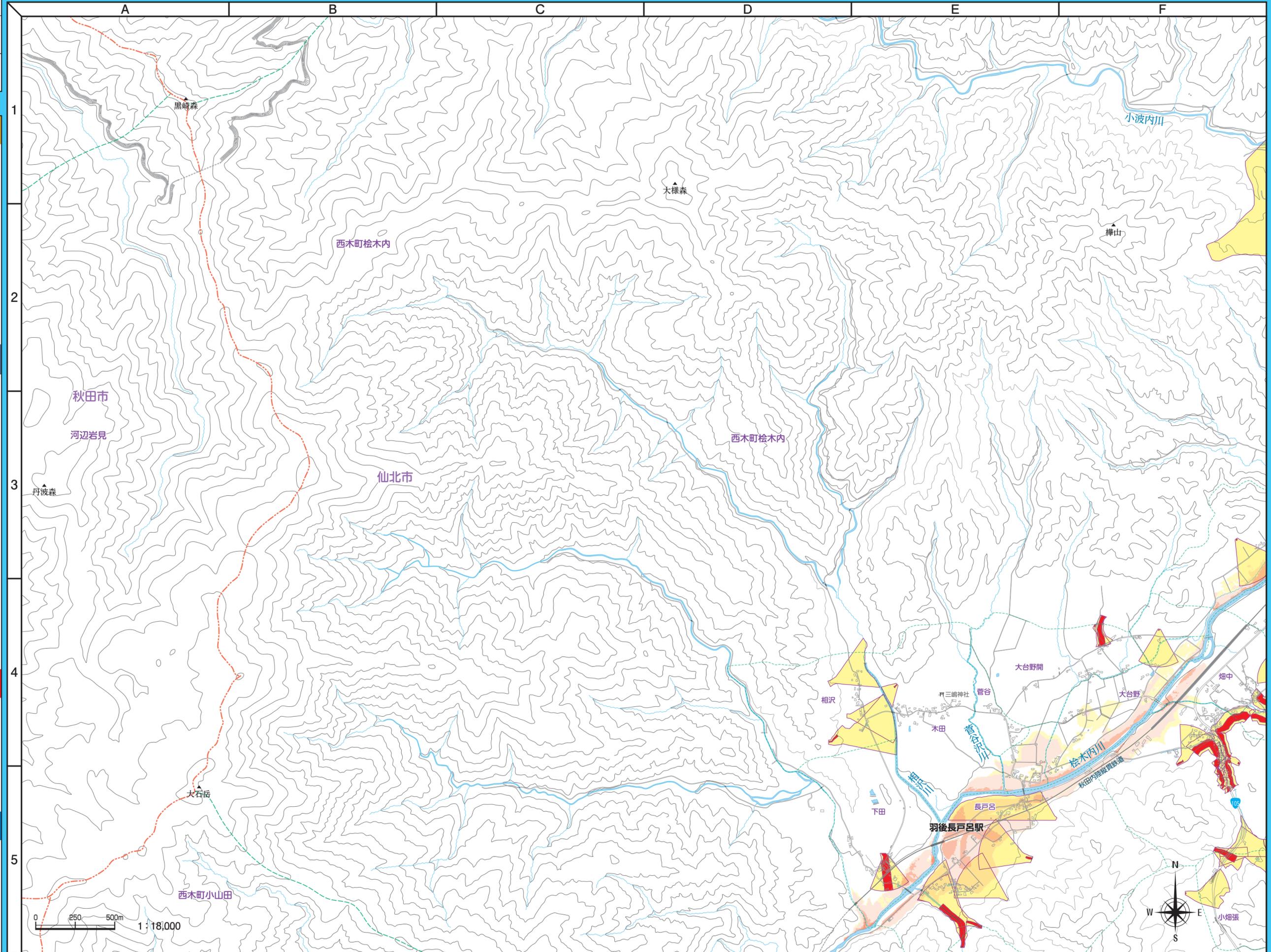
赤色の番号と施設名で表示

指定避難場所

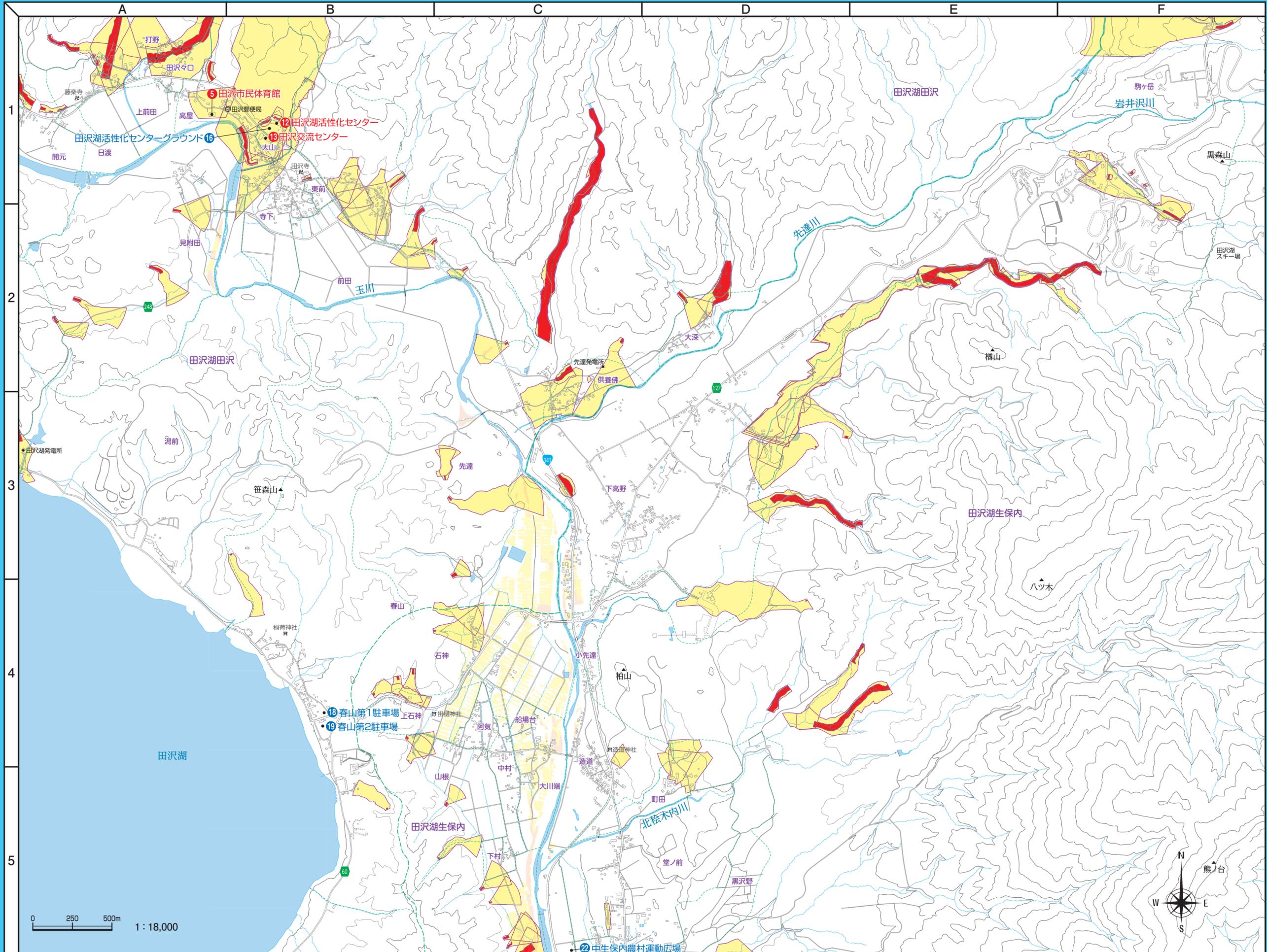
青色の番号と施設名で表示

※指定避難場所専用の施設を青で表示しています

各指定避難所、指定避難場所についての詳細は、P9・10をご覧ください



4	5	6
8	9	10
12	13	



土砂災害凡例

- 土砂災害 特別警戒区域**
著しい危険が生じる恐れのある区域
- 土砂災害 警戒区域**
危険が生じる恐れのある区域

河川浸水想定凡例

- 浸水深0.5m未満
- 浸水深0.5～3.0m未満
- 浸水深3.0～5.0m未満
- 浸水深5.0～10.0m未満

浸水深の表示と配色は「洪水浸水想定区域図マニュアル(国土交通省・国土技術政策総合研究所)」による

指定避難所

赤色の番号と施設名で表示

指定避難場所

青色の番号と施設名で表示

※指定避難場所専用の施設を青で表示しています

各指定避難所、指定避難場所についての詳細は、P9・10をご覧ください



5	6
9	10
13	

土砂災害凡例

**土砂災害
特別警戒区域**
著しい危険が生じる
恐れのある区域

**土砂災害
警戒区域**
危険が生じる
恐れのある区域

河川浸水想定凡例

浸水深0.5m未満

浸水深0.5～3.0m未満

浸水深3.0～5.0m未満

浸水深5.0～10.0m未満

浸水深の表示と配色は「洪水浸水想定区域図マニュアル(国土交通省・国土技術政策総合研究所)」による

指定避難所

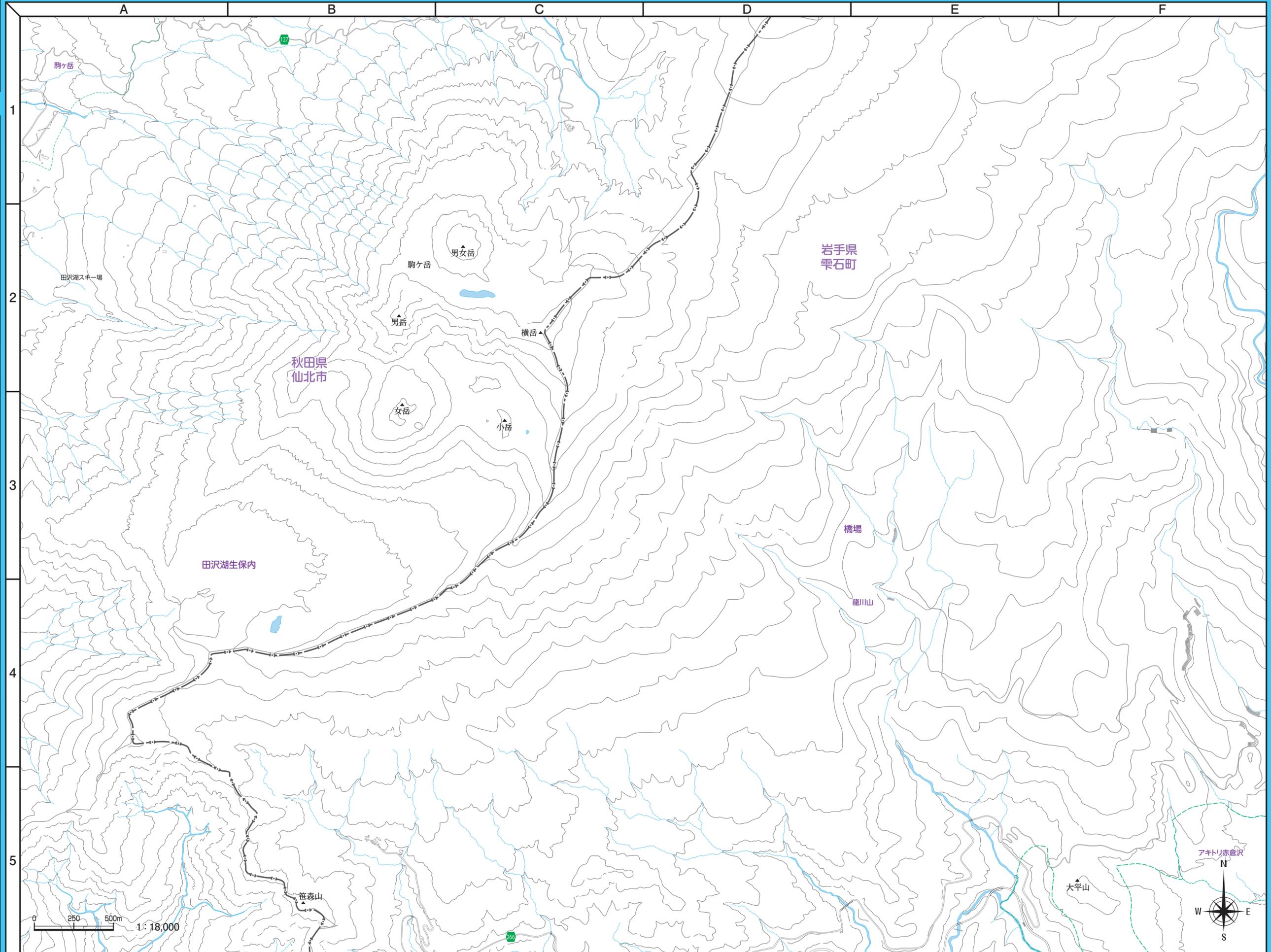
赤色の番号と施設名で表示

指定避難場所

青色の番号と施設名で表示

※指定避難場所専用の施設を青で表示しています

各指定避難所、指定避難場所についての詳細は、P9・10をご覧ください



7	8
11	12
15	16

17左

土砂災害凡例

**土砂災害
特別警戒区域**
著しい危険が生じる
恐れのある区域

**土砂災害
警戒区域**
危険が生じる
恐れのある区域

河川浸水想定凡例

浸水深0.5m未満

浸水深0.5~3.0m未満

浸水深3.0~5.0m未満

浸水深5.0~10.0m未満

浸水深の表示と配色は「洪水浸水想定区域図マニュアル(国土交通省・国土技術政策総合研究所)」による

指定避難所

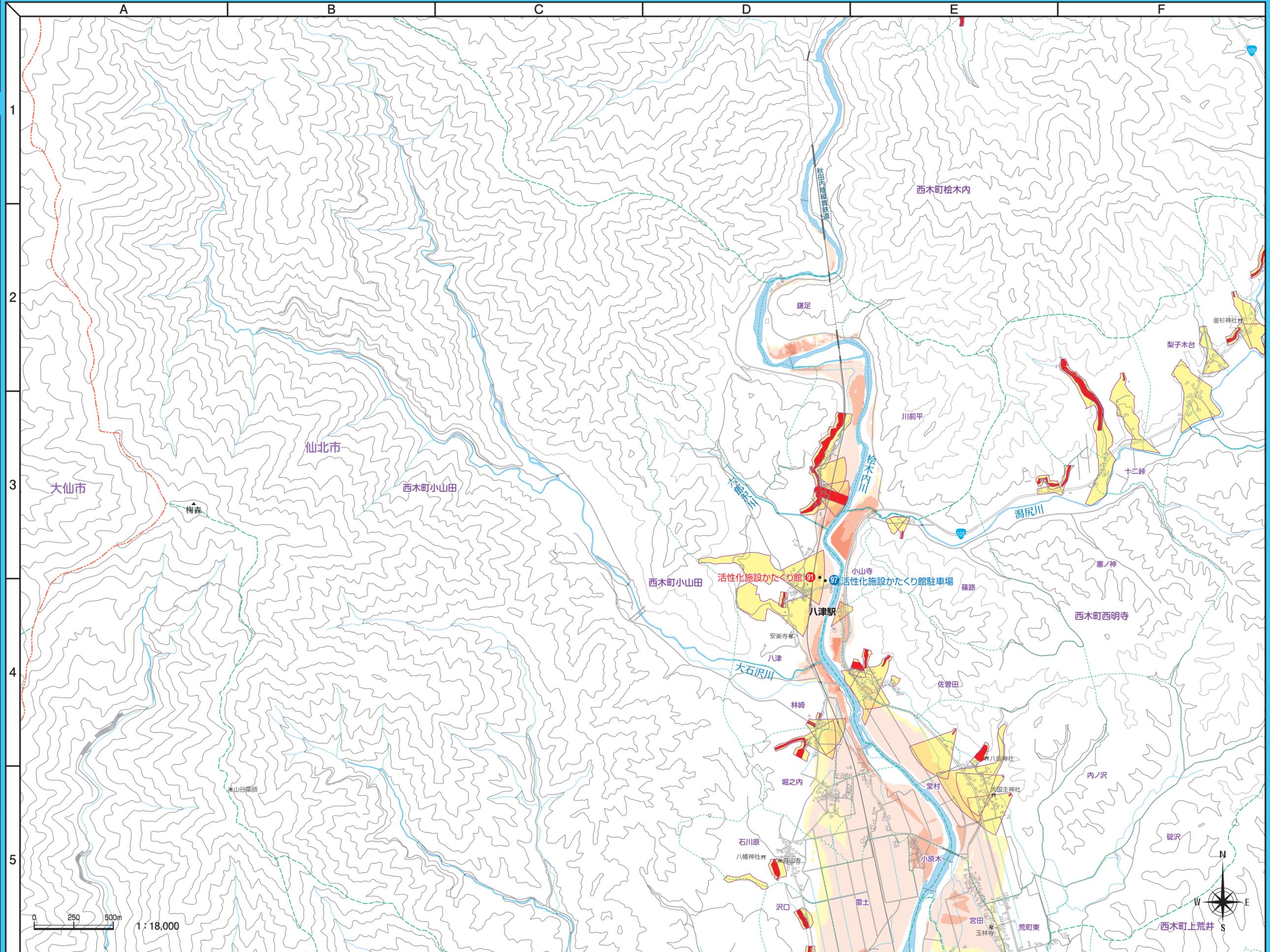
赤色の番号と施設名で表示

指定避難場所

青色の番号と施設名で表示

※指定避難場所専用の施設を青で表示しています

各指定避難所、指定避難場所についての詳細は、P9・10をご覧ください



7	8	9
11	12	13
15	16	17 右

土砂災害凡例

**土砂災害
特別警戒区域**
著しい危険が生じる
恐れのある区域



**土砂災害
警戒区域**
危険が生じる
恐れのある区域



河川浸水想定凡例

浸水深0.5m未満



浸水深0.5~3.0m未満



浸水深3.0~5.0m未満



浸水深5.0~10.0m未満



浸水深の表示と配色は「洪水浸水想定区域図マニュアル(国土交通省・国土技術政策総合研究所)」による

指定避難所

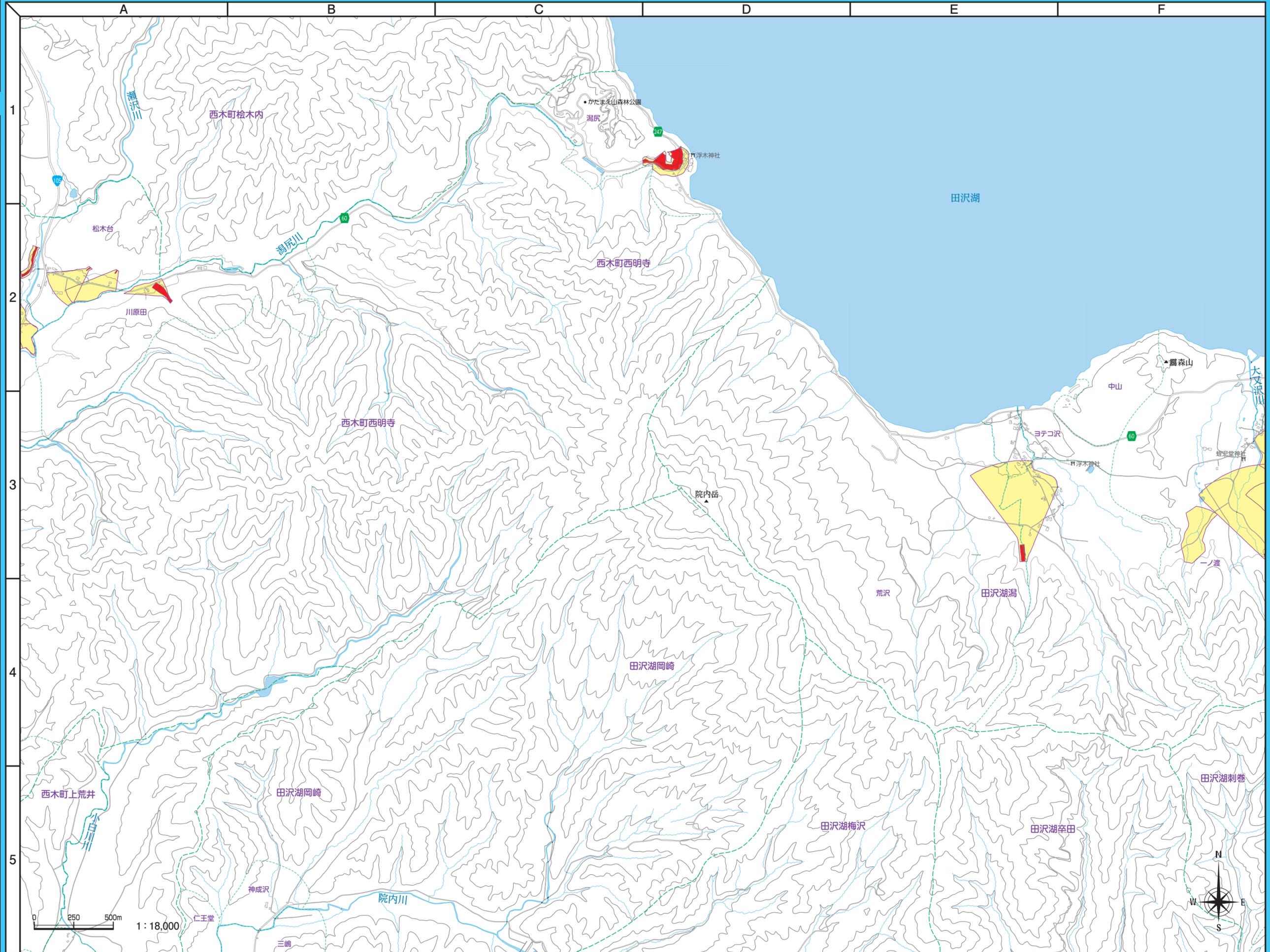
赤色の番号と施設名で表示

指定避難場所

青色の番号と施設名で表示

※指定避難場所専用の施設を青で表示しています

各指定避難所、指定避難場所についての詳細は、P9・10をご覧ください



8	9	10
12	13	
16	17	右

土砂災害凡例

**土砂災害
特別警戒区域**
著しい危険が生じる
恐れのある区域

**土砂災害
警戒区域**
危険が生じる
恐れのある区域

河川浸水想定凡例

浸水深0.5m未満

浸水深0.5～3.0m未満

浸水深3.0～5.0m未満

浸水深5.0～10.0m未満

浸水深の表示と配色は「洪水浸水想定区域図マニュアル(国土交通省・国土技術政策総合研究所)」による

指定避難所

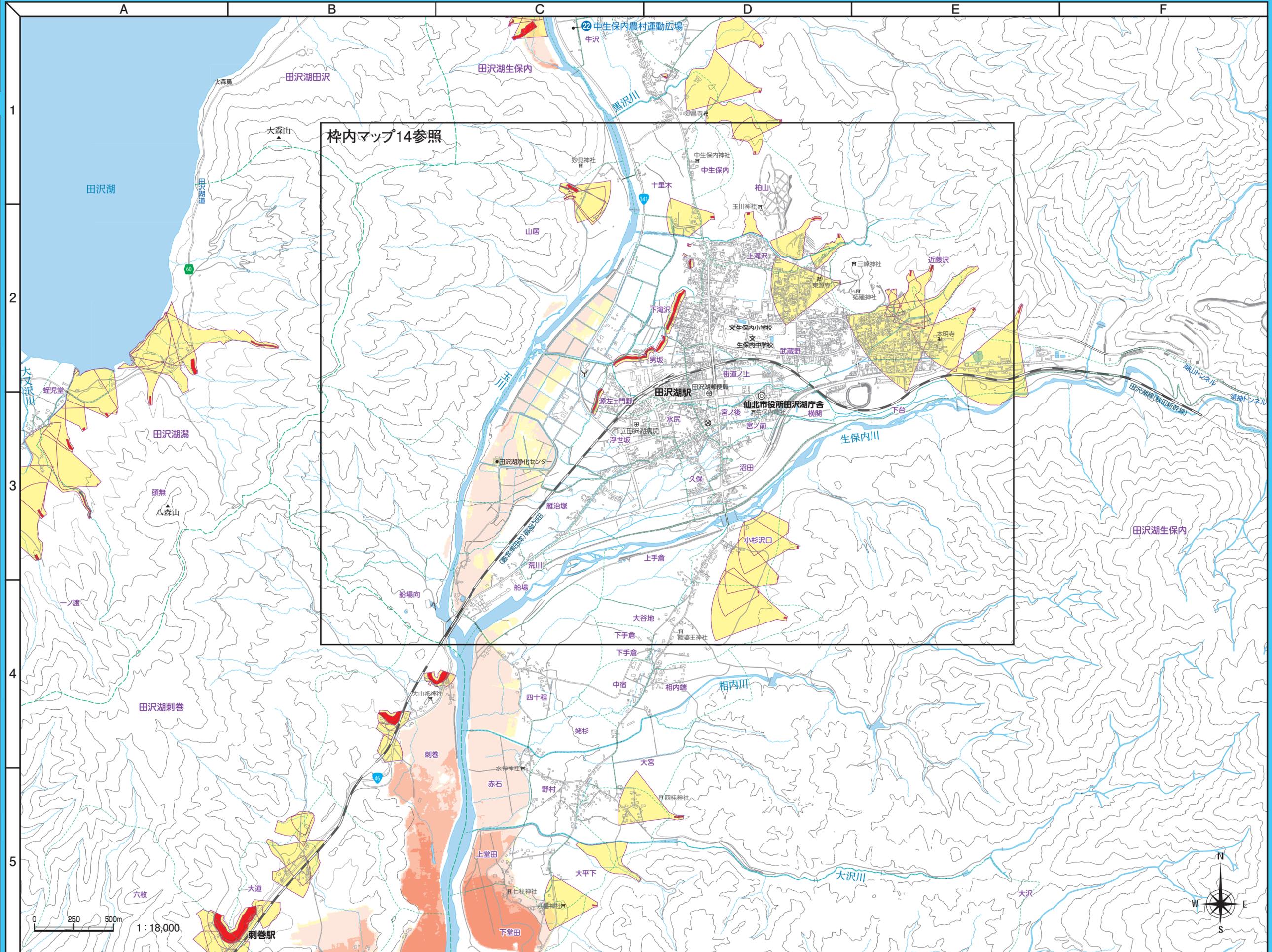
赤色の番号と施設名で表示

指定避難場所

青色の番号と施設名で表示

※指定避難場所専用の施設を青で表示しています

各指定避難所、指定避難場所についての詳細は、P9・10をご覧ください



土砂災害凡例

土砂災害
特別警戒区域
著しい危険が生じる
恐れのある区域



土砂災害
警戒区域
危険が生じる
恐れのある区域

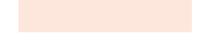


河川浸水想定凡例

浸水深0.5m未満



浸水深0.5～3.0m未満



浸水深3.0～5.0m未満



浸水深5.0～10.0m未満



浸水深の表示と配色は
「洪水浸水想定区域図マニュアル
(国土交通省・国土技術政策総合
研究所)」による

指定避難所

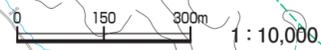
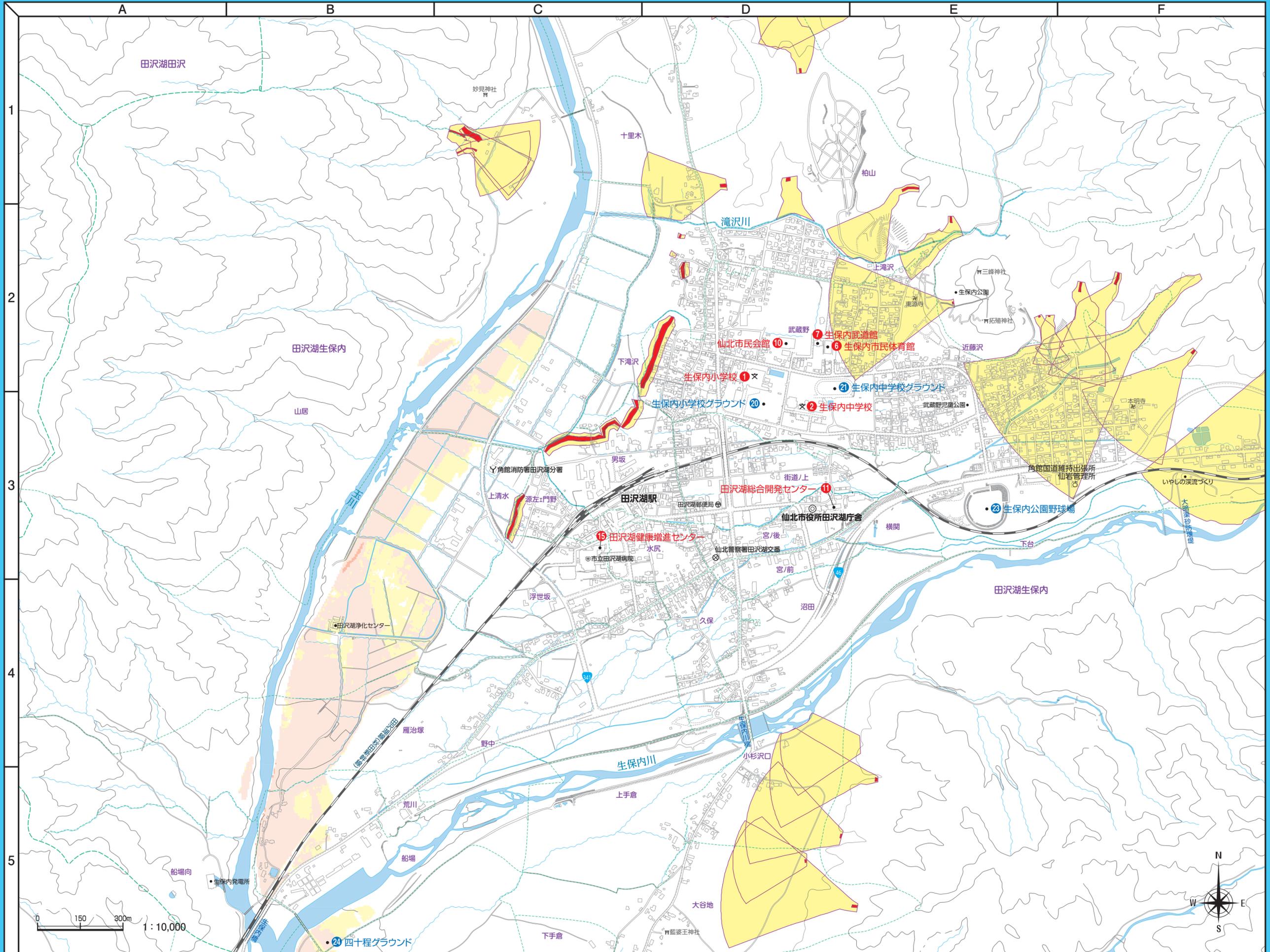
赤色の番号と
施設名で表示

指定避難場所

青色の番号と
施設名で表示

※指定避難場所専用の施設
を青で表示しています

各指定避難所、指定避難場所
についての詳細は、P9・10を
ご覧ください



11	12
15	16
17左	18
	20

土砂災害凡例

土砂災害特別警戒区域
著しい危険が生じる恐れのある区域

土砂災害警戒区域
危険が生じる恐れのある区域

河川浸水想定凡例

浸水深0.5m未満

浸水深0.5～3.0m未満

浸水深3.0～5.0m未満

浸水深5.0～10.0m未満

浸水深の表示と配色は「洪水浸水想定区域図マニュアル(国土交通省・国土技術政策総合研究所)」による

指定避難所

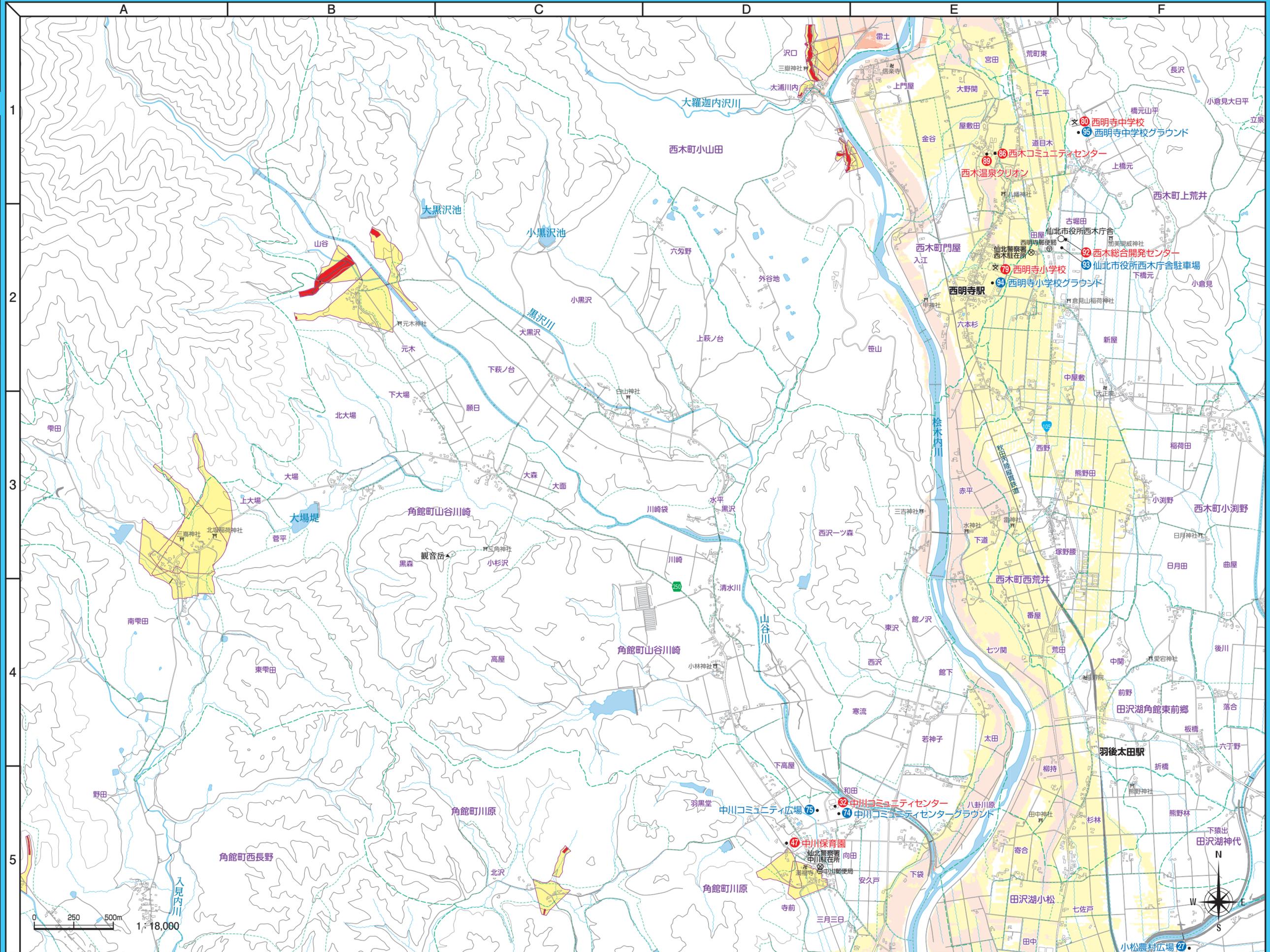
赤色の番号と施設名で表示

指定避難場所

青色の番号と施設名で表示

※指定避難場所専用の施設を青で表示しています

各指定避難所、指定避難場所についての詳細は、P9・10をご覧ください



11	12	13
15	16	17 右
18	20	

土砂災害凡例

- 土砂災害
特別警戒区域
著しい危険が生じる
恐れのある区域
- 土砂災害
警戒区域
危険が生じる
恐れのある区域

河川浸水想定凡例

- 浸水深0.5m未満
- 浸水深0.5~3.0m未満
- 浸水深3.0~5.0m未満
- 浸水深5.0~10.0m未満

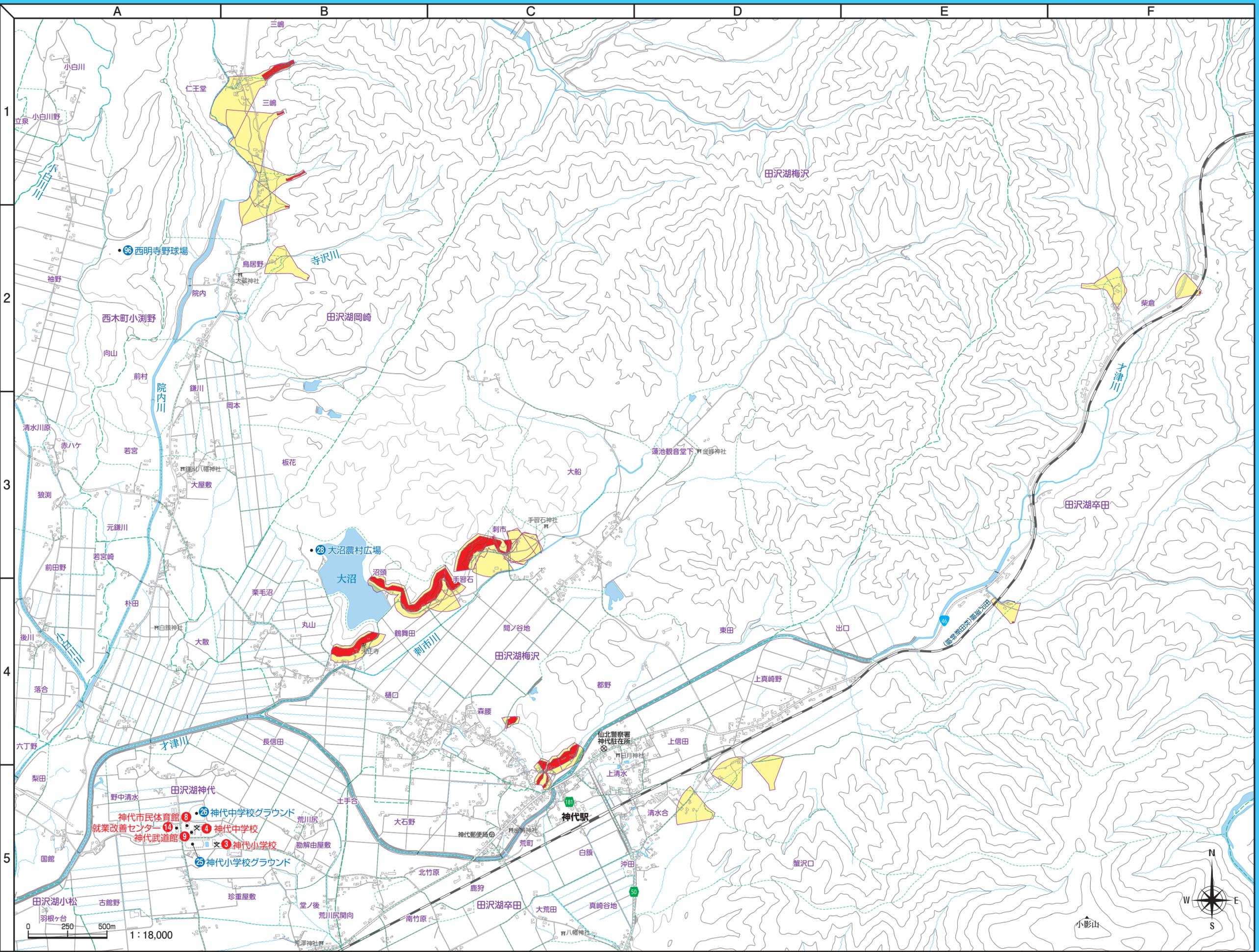
浸水深の表示と配色は「洪水浸水想定区域図マニュアル(国土交通省・国土技術政策総合研究所)」による

指定避難所

赤色の番号と施設名で表示

指定避難場所

青色の番号と施設名で表示
※指定避難場所専用の施設を青で表示しています
各指定避難所、指定避難場所についての詳細は、P9・10をご覧ください



0 250 500m 1:18,000



	11	12	13
17左	15	16	17右
	18	20	

土砂災害凡例

- 土砂災害 特別警戒区域**
著しい危険が生じる恐れのある区域
- 土砂災害 警戒区域**
危険が生じる恐れのある区域

河川浸水想定凡例

- 浸水深0.5m未満
- 浸水深0.5~3.0m未満
- 浸水深3.0~5.0m未満
- 浸水深5.0~10.0m未満

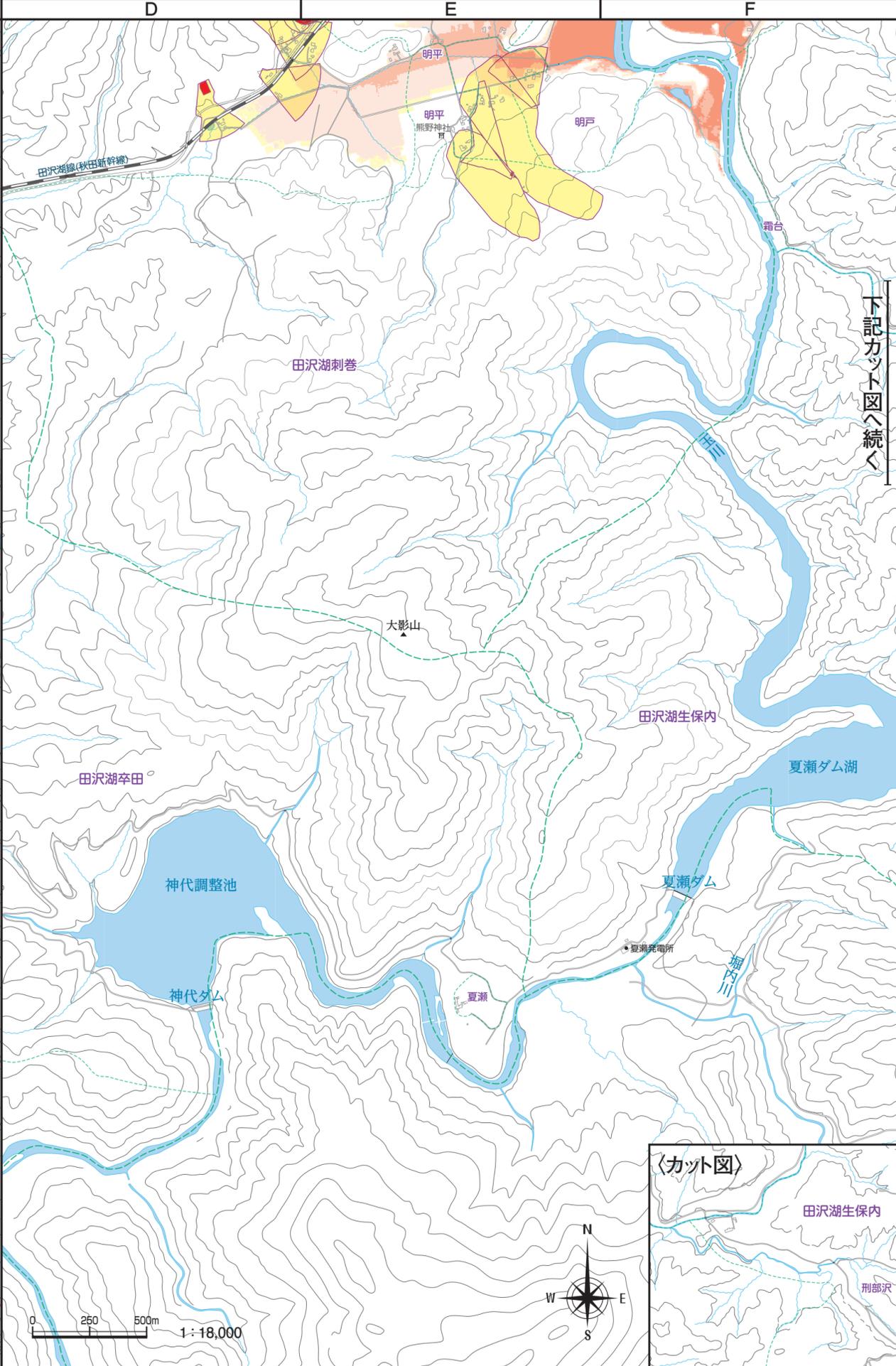
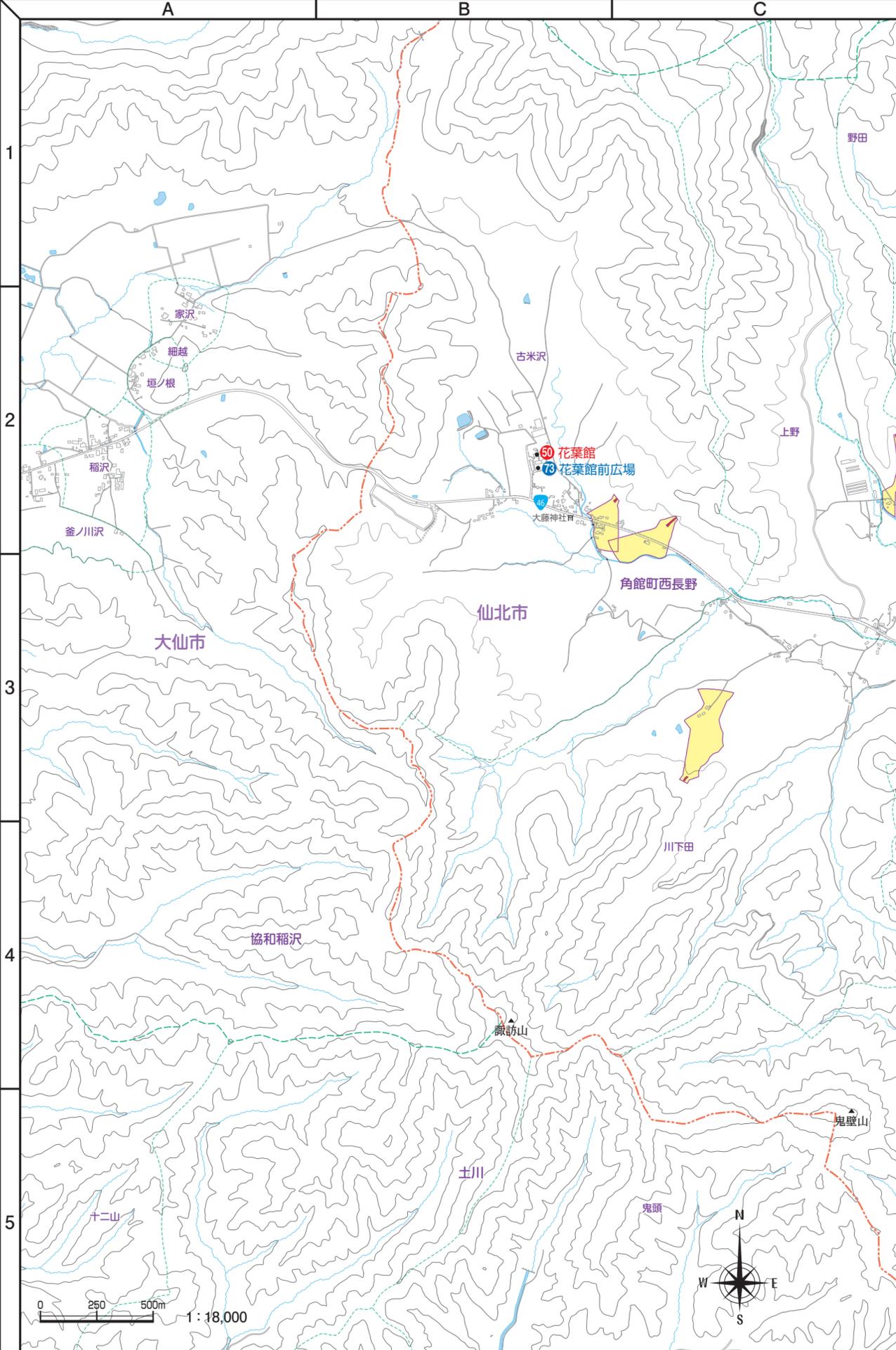
浸水深の表示と配色は「洪水浸水想定区域図マニュアル(国土交通省・国土技術政策総合研究所)」による

指定避難所

赤色の番号と施設名で表示

指定避難場所

青色の番号と施設名で表示
※指定避難場所専用の施設を青で表示しています
各指定避難所、指定避難場所についての詳細は、P9・10をご覧ください



下記カット図へ続く



17左 15 16 18 20

土砂災害凡例

- 土砂災害 特別警戒区域
著しい危険が生じる恐れのある区域
- 土砂災害 警戒区域
危険が生じる恐れのある区域

河川浸水想定凡例

- 浸水深0.5m未満
- 浸水深0.5~3.0m未満
- 浸水深3.0~5.0m未満
- 浸水深5.0~10.0m未満

浸水深の表示と配色は「洪水浸水想定区域図マニュアル(国土交通省・国土技術政策総合研究所)」による

指定避難所

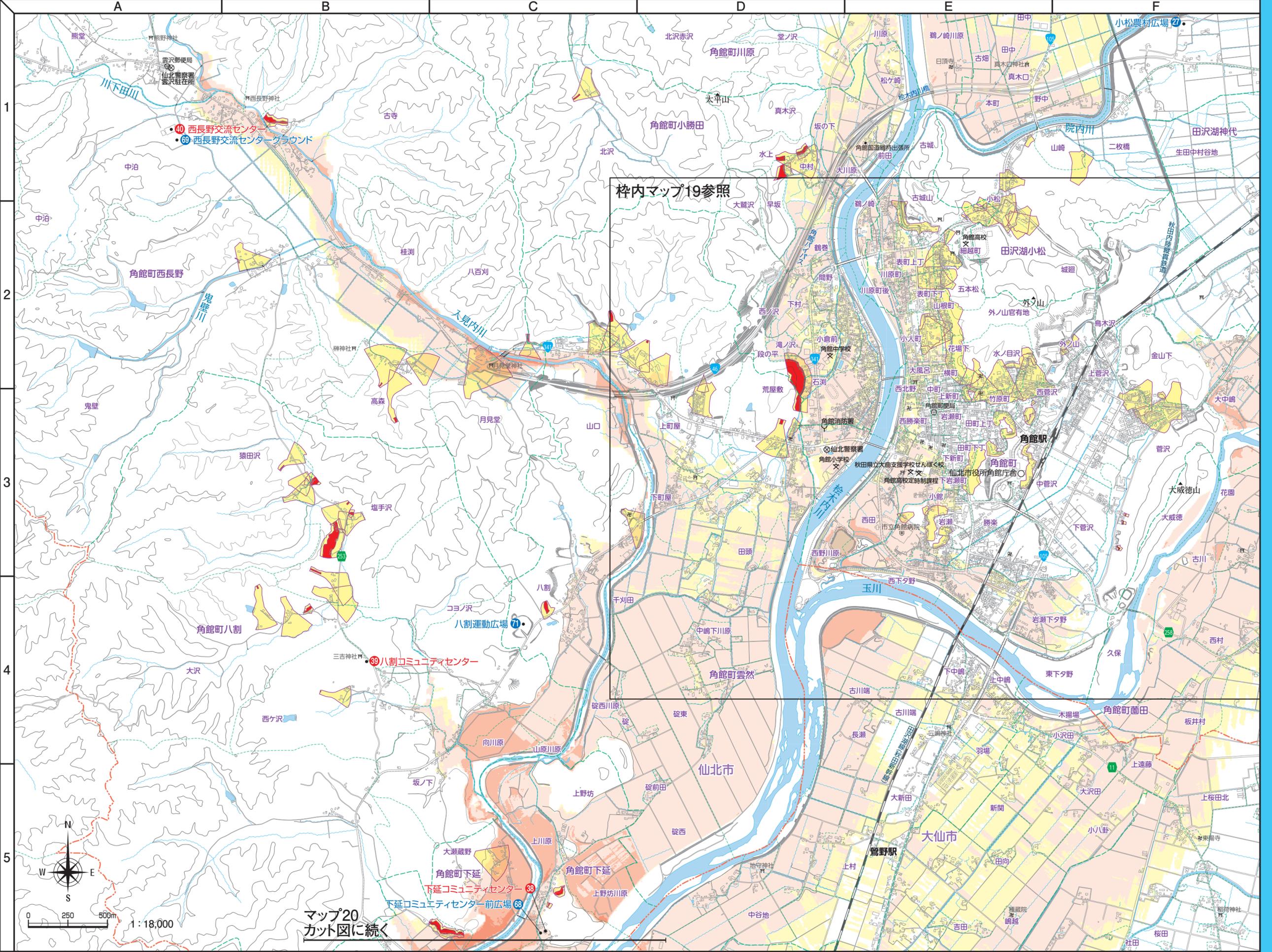
赤色の番号と施設名で表示

指定避難場所

青色の番号と施設名で表示

※指定避難場所専用の施設を青で表示しています

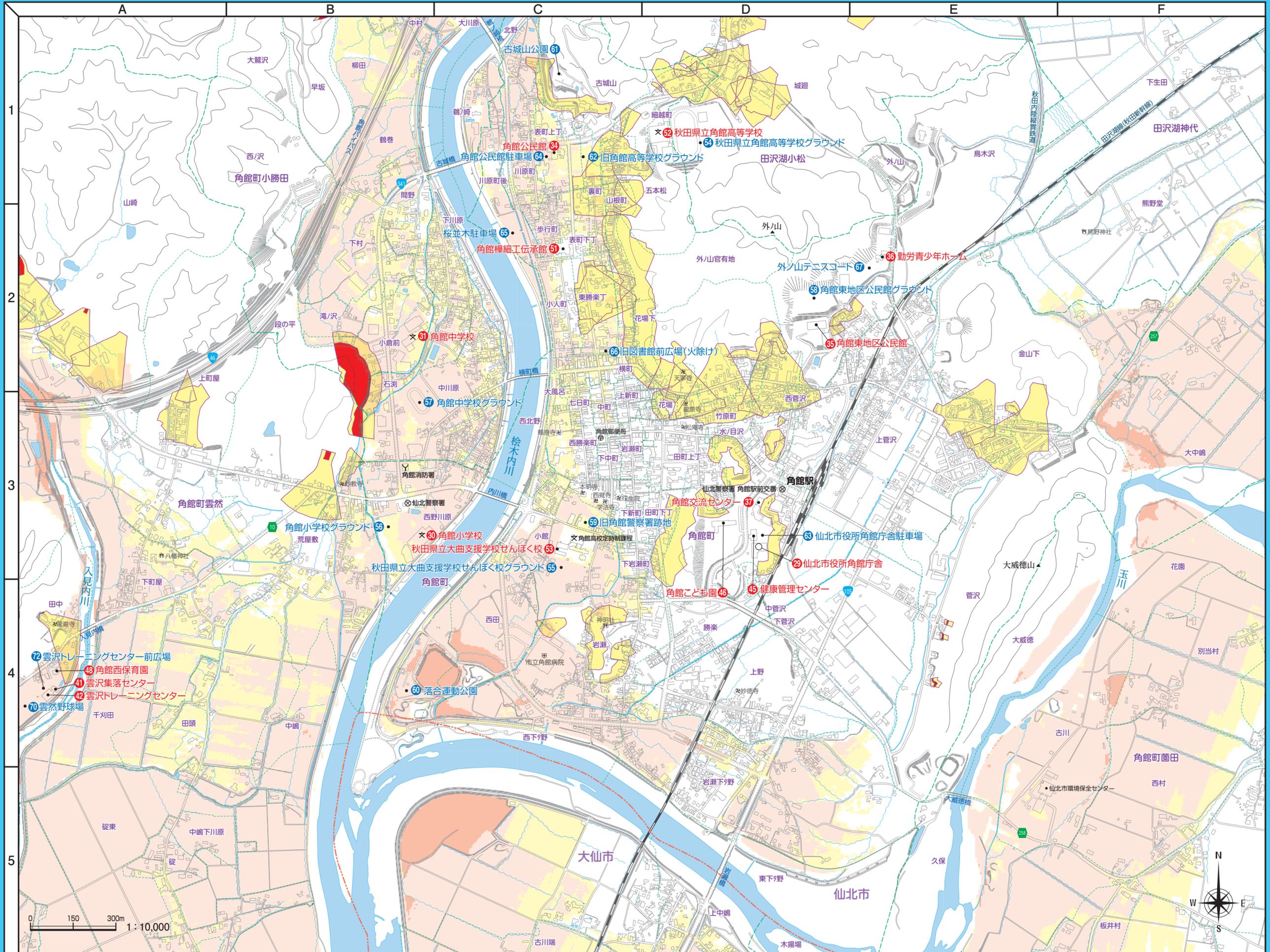
各指定避難所、指定避難場所についての詳細は、P9・10をご覧ください



枠内マップ19参照

マップ20 カット図に続く

15 16
18 19 20



土砂災害凡例

- 土砂災害
特別警戒区域
著しい危険が生じる
恐れのある区域
- 土砂災害
警戒区域
危険が生じる
恐れのある区域

河川浸水想定凡例

- 浸水深0.5m未満
- 浸水深0.5~3.0m未満
- 浸水深3.0~5.0m未満
- 浸水深5.0~10.0m未満

浸水深の表示と配色は「洪水浸水想定区域図マニュアル(国土交通省・国土技術政策総合研究所)」による

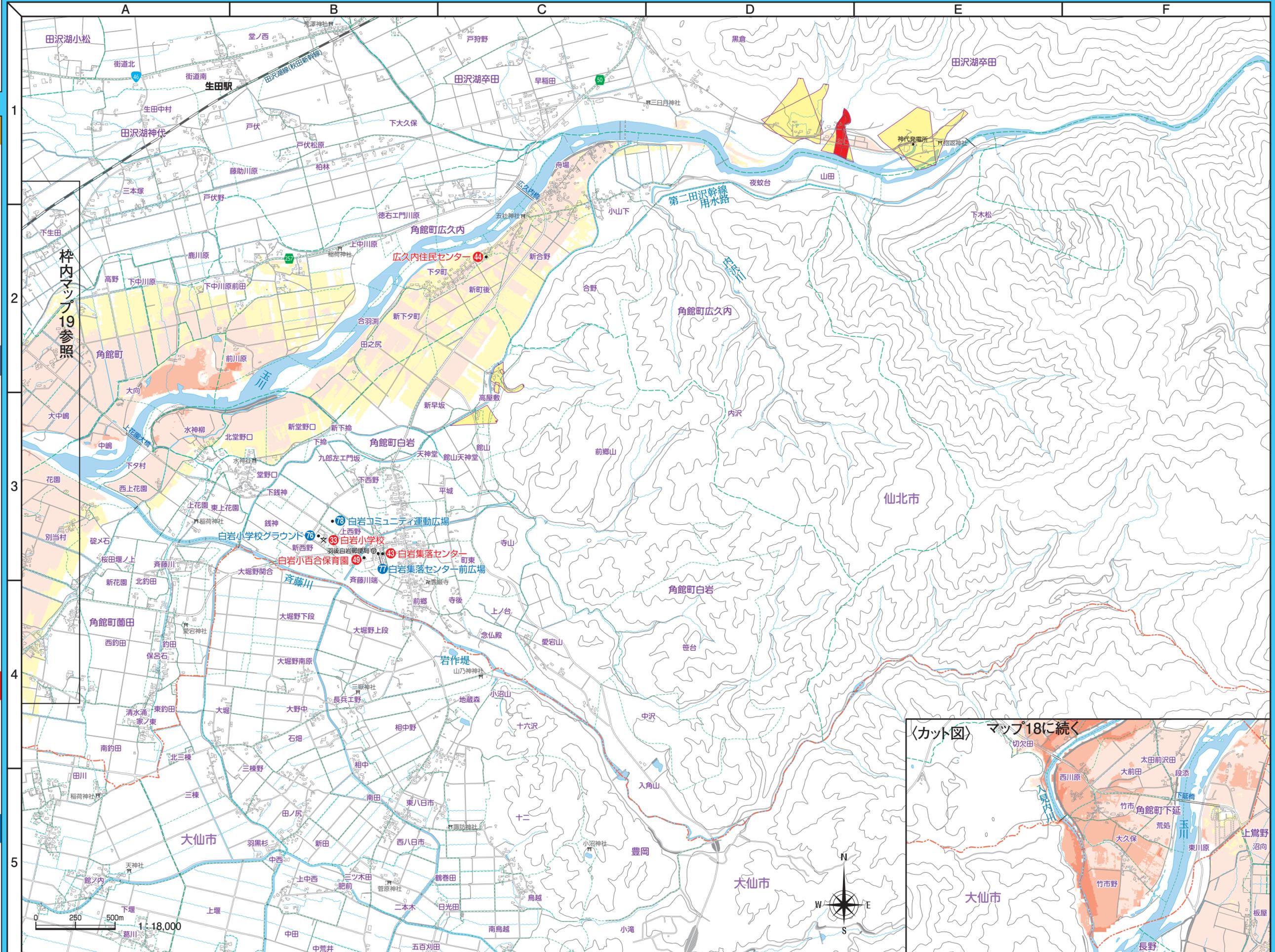
指定避難所

赤色の番号と施設名で表示

指定避難場所

青色の番号と施設名で表示
※指定避難場所専用の施設を青で表示しています
各指定避難所、指定避難場所についての詳細は、P9・10をご覧ください

15 16 17 右
18 20



土砂災害凡例

- 土砂災害 特別警戒区域
著しい危険が生じる恐れのある区域
- 土砂災害 警戒区域
危険が生じる恐れのある区域

河川浸水想定凡例

- 浸水深0.5m未満
- 浸水深0.5~3.0m未満
- 浸水深3.0~5.0m未満
- 浸水深5.0~10.0m未満

浸水深の表示と配色は「洪水浸水想定区域図マニュアル(国土交通省・国土技術政策総合研究所)」による

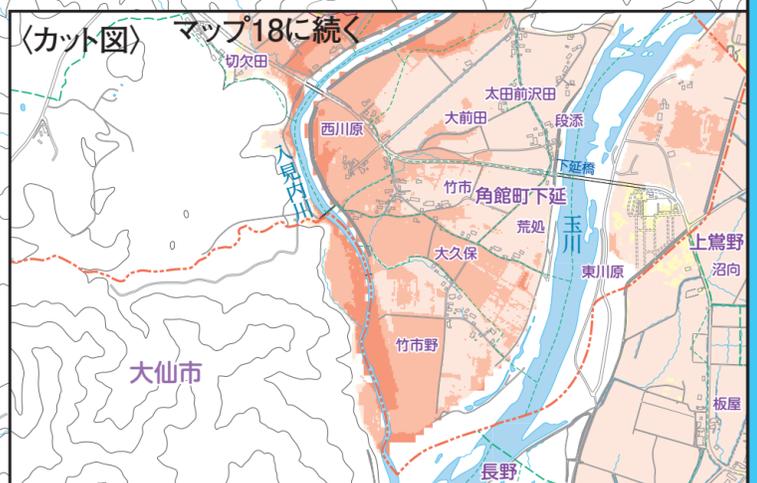
指定避難所

赤色の番号と施設名で表示

指定避難場所

青色の番号と施設名で表示
※指定避難場所専用の施設を青で表示しています
各指定避難所、指定避難場所についての詳細は、P9・10をご覧ください

枠内マップ19参照



わが家の防災対策&チェック

家の中の安全対策

事前に準備出来ているか、チェック✓しましょう。

1

□ 家の中に逃げ場としての安全な空間をつくる

部屋がいくつもある場合は、人の出入りが少ない部屋に家具をまとめて置く。無理な場合は、少しでも安全なスペースができるよう配置換えする。



3

□ 家具の転倒を防ぐ

家具と壁や柱の間に遊びがあると倒れやすい。家具の下に小さな板などを差し込んで、壁や柱によりかかるように固定する。また、金具や固定器具を使って転倒防止策を万全に。



2

□ 安全に避難するため、出入口や通路にものを置かない

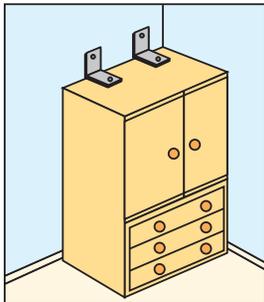
玄関などの出入口までの通路に、家具など倒れやすいものを置かない。また、玄関にいろいろなものを置くと、いざというときに、出入口をふさいでしまうことも。



家具の転倒、落下を防ぐポイント

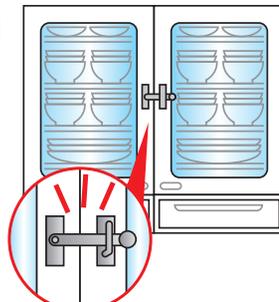
タンス・本棚

L字金具や支え棒などで固定する。二段重ねの場合はつなぎ目を金具でしっかり連結しておく。



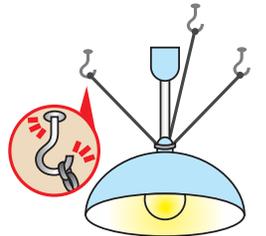
食器棚

L字金具などで固定し、棚板には滑りにくい材質のシートやふきんなどを敷く。重い食器は下の方に置く。扉が開かないように止め金具をつける。



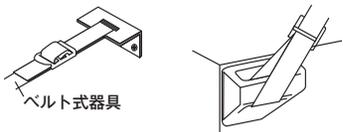
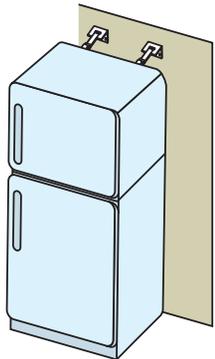
照明

チェーンと金具を使って数箇所止める。



冷蔵庫

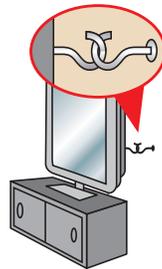
転倒防止用ベルトで固定します。



冷蔵庫裏面の取手にベルトを通して、なるべく壁に寄せて固定する。

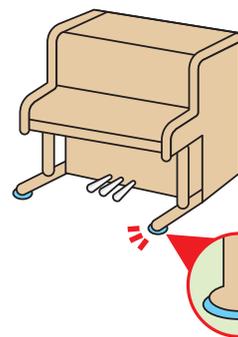
テレビ

できるだけ低い位置に固定して置く(家具の上など、高い位置はさける)。



ピアノ

転倒防止専用金具などで固定する。脚には、すべり止めをつける。



家の周囲の安全対策

事前に準備出来ているか、チェック✓しましょう。

□ 屋根

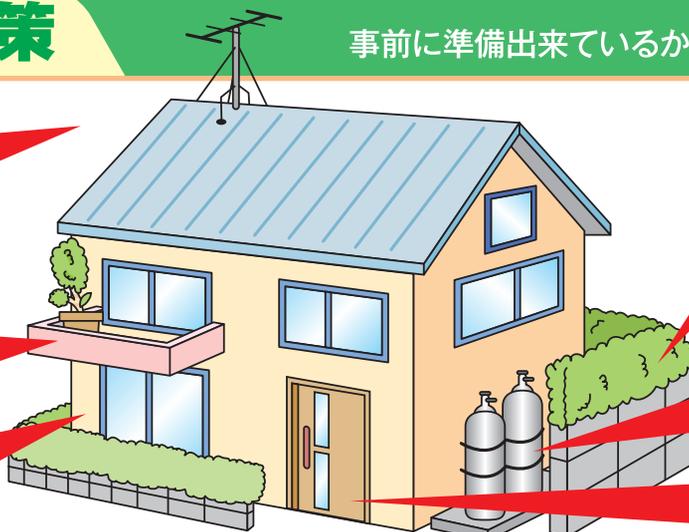
不安定な屋根のアンテナや、屋根瓦は補強しておく。

□ ベランダ

植木鉢などの整理整頓を。落ちる危険がある場所には何も置かない。

□ 窓ガラス

飛散防止フィルムをはる。



□ ブロック塀・門柱

土中にしっかりと基礎部分がないもの、鉄筋が入っていないものは危険なので補強する。ひび割れや鉄筋のさびも修理する。

□ プロパンガス

ボンベを鎖で固定しておく。

□ 非常口の確保

わが家の「防災・緊急情報」メモ

非常時・緊急時に連絡してほしい方や、利用してもらいたいわが家の情報です。
災害時に救助の方や、緊急時に救急隊・医療機関・市に情報を提供します。

世帯主氏名		電話	
住所			

避難場所	
家族が離ればなれになった時の避難場所	

家族構成 連絡先	氏名	生年月日	電話(携帯・会社・学校)	住所	メモ	

家族の 緊急情報・ 救急メモ	氏名	血液型	持病・アレルギー	持病薬	かかりつけ医療機関
【メモ】※書ききれなかった内容や、知ってほしい情報(介護情報・救急隊員への伝言など)をお書きください。					

緊急時 連絡先	氏名	間柄	電話	住所	メモ	

防災無線聞き逃しサービス

○テレドーム(テレホンサービス)

0180-99-1555

防災無線の情報を電話で確認することができます。

※ ご利用には通話料がかかります。固定電話はダイヤル通話料・携帯電話は1分50円位の通話料

携帯電話メールサービス

○安全安心メール(登録制メール)

市民の皆様にさまざまな情報(防災、安心、子育て、学校)を配信します。
防災無線の放送情報がメールで届きます。



安全安心情報

※ 事前の登録が必要です。

登録方法

- ・携帯電話から空メールを送り、配信メールから本登録を行って下さい。 toroku@anshin.ctiy.semboku.akita.jp へ
- ・QRコードを読み取って送信し、配信メールから本登録を行って下さい。
- ・仙北市のホームページからもご確認頂けます。

防災関係機関連絡先 (市外局番：0187)

仙北市役所	田沢湖庁舎	43-1111
	総合防災課	43-1115
	角館庁舎	43-3309
	西木庁舎	43-2200
仙北地域振興局建設部		63-3111
大仙保健所		63-3403

角館消防署 (緊急は119)	田沢湖分署	54-2302
	西木分署	43-1139
		48-2324
仙北警察署 (緊急は110)		53-2111
角館国道維持出張所		54-3181
東北電力 (停電・緊急時)		0120-175-366

災害用伝言ダイヤル

災害用伝言ダイヤルとは？

地震、風水害などの災害の発生により、被災地への通信が増加し、つながりにくい状況になった場合に提供が開始される声の伝言板です。

伝言の録音 171-1-被災地の方の電話番号
伝言の再生 171-2-被災地の方の電話番号
伝言内容(時間) 1伝言あたり30秒以内

伝言保存期間 災害用伝言ダイヤル(171)運用終了まで
伝言蓄積数 1電話番号あたり20伝言まで
利用可能電話 加入電話、INSネット、ひかり電話(ダイヤル式を除く)
携帯電話、災害時用公衆電話

仙北市ハザードマップ

令和3年11月

発行 仙北市総務部総合防災課
仙北市田沢湖生保内字宮ノ後30
TEL 0187-43-1115
FAX 0187-43-1300

制作・著作 株式会社ゼンリン 秋田営業所
秋田市山王6丁目9番25号 山王SEビル6F
TEL 018-862-7417
FAX 018-862-7691

無断で複写、転載することをご遠慮ください。著作権者に無断で本誌の全部、または一部を複製及び転載することは、著作権法により禁止されています。

「この地図は秋田県知事の承認を得て森林基本図を使用し作成したものである。承認番号 令和2年3月16日 指令森-2840」

「この地図は、仙北市長の承認を得て、同市発行の1/2,500および1/10,000都市計画図を使用し調製したものである。承認番号 令和3年2月3日 仙北市指令建第3-14号」

「測量法に基づく国土地理院長承認(使用) R 2JHs 293-424号」

本文中の地図は、弊社2021年6月発行の仙北市住宅地図(1・2)データをもとに作成しています。また、住宅地図による現地調査情報、編集独自の細かな情報も加えて制作しています。

作成には細心の注意を払い、編集作業を行っていますが、データ量は膨大であり、日々変化する現状と地図面が一致しない場合があります。また、目標物は見やすさを優先し、正式名称などを一部割愛して掲載しています。何卒ご了承くださいませようお願い申し上げます。